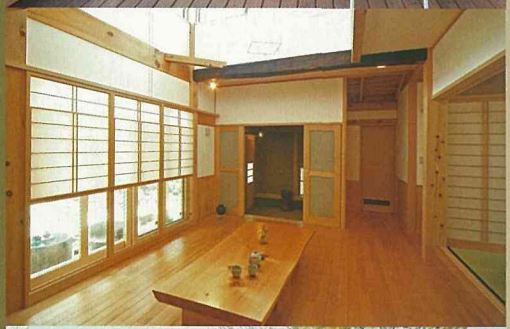
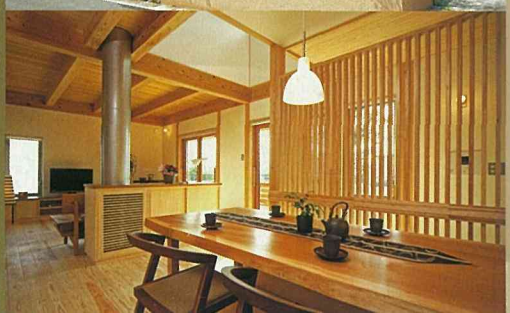
HOWTEC

顔の見える
木材での家づくり

2009年版

グループ 30 選





「顔の見える木材での家づくり」グループ30選の趣旨

財団法人日本住宅・木材技術センターでは、地域の関係者（山林所有者、素材生産業者、森林組合、木材加工業者、設計士、大工・工務店等）が連携したグループによる地域材及び地域の技術を使用した家づくり（「顔の見える木材での家づくり」）の活動について、消費者等に推奨できる家づくり活動を実践しているグループを1．2．のとおりに募集し、3．に記載した選定委員により、30グループを選定いたしました。

これらのグループの活動を広く紹介することにより、顔の見える木材での家づくりの普及を進めるとともに、グループ活動の活性化及び新たな活動グループの結成促進を進めていくこととします。

1．公募要件　原則として木材供給者、木材加工・販売業者及び設計・建築業者の三者が参加しているグループにおいて、次の活動を行っているグループ

（1）消費者に対する活動内容が推奨できる内容を実践していること

（2）グループ内の活動内容が推奨できるような活動を実践していること

（3）提供された住宅の設計・施工体制、提供住宅の質、保証体制等

2．募集期間　平成20年12月5日～平成20年12月25日

3．選定委員　委員長　安藤　直人（東京大学大学院農学生命科学研究科　教授）

委　員　岩崎　敏之（湘北短期大学生活プロデュース学科　准教授）

大倉　靖彦（㈱アルセッド建築研究所　取締役副所長）

坂本　保（㈶日本木材総合情報センター　国内情報部長）

嶋瀬　拓也（㈱森林総合研究所林業経営・政策研究領域研究員）

西村　勝美（木構造振興㈱　専務取締役）

山辺　豊彦（㈲山辺構造設計事務所　所長）

目次

「顔の見える木材での家づくりグループ」とは―― 2
宮古・下閉伊モノづくりネットワーク林産部会―― 4
群馬西毛の家協同組合―― 6
八溝杉の家づくり協同組合―― 8
家造りを考える会―― 10
日光地区木材流通研究会―― 12
八溝の家づくりグループ―― 14
木の家だいすきの会―― 16
ちばの山を愛する家造りネット―― 18
さんむフォレスト―― 20
ワークショップ「き」組―― 22
青ヒバの会―― 24
協同組合匠の会―― 26
山梨の木で家をつくる会―― 28
山梨県産材健康住宅研究会―― 30
北信濃の森と匠を活かす家づくり研究会―― 32
「信州の家は信州の木で工房信州の家づくり」グループ―― 34
越後にいきる家をつくる会―― 36
協同組合上之保デカ木住宅センター―― 38
木の家をつくる会―― 40
龍神住宅株式会社―― 42
ひょうご木のすまい協議会―― 44
住環境システム協同組合―― 46
住まいづくりの会―― 48
安成工務店 エコビルドトライ・ウッド 山とまち連携グループ―― 50
嶺北材ブランド化協議会―― 52
土佐の木の家づくり協議会―― 54
熊本の山の木で家をつくる会―― 56
熊本の杉・天然乾燥研究会―― 58
「生地の家」職人'ネットワーク―― 60
諸塚村産直住宅推進室―― 62

「顔の見える木材での家づくり」グループ30選　全体講評

「顔の見える木材での家づくり」グループ30選（２００８年度）は、地域材を用いた住宅を手掛けているグループの情報を、消費者に広くお知らせすることを目的として選定しました。募集期間が短かったこともあり、選定されたグループは、北は岩手県、南は宮崎県までと、必ずしも全国を網羅してはおりません。特に関東圏のグループを多く選定していますが、これは住宅販売が比較的激戦区で、積極的な取り組みが多く行われていることを示している結果と思われます。

地域材を活かして地域の住宅を建てることは、我が国の住宅供給（建築）にとって原点ともいえるものですが、地域に根差した伝統的な工法もあれば、現代の家に求められる様々な機能・性能に果敢に挑戦した、意欲的な取り組みも含まれています。

この30選に選定されなかったグループも全国に多数あると言われています。今回は初めての試みとして30グループの紹介にとどまりましたが、今後、各地で「顔の見える木材での家づくり」に取り組んでいるグループをより広く取り上げて、家づくりを検討される方々の参考となるように充実させる必要性があると考えます。

「顔の見える木材での家づくりグループ」とは

近年、「安全・安心・健康な住宅」に高い関心を持つ人が増え、全国各地でこの要望に応える取り組みが活発になってきました。木材生産者、製材業者、木材販売業者、大工・工務店、建築士など家づくりのプロたちが地域ごとにネットワークを組み、国産材や、その地域の自然素材を多用した家づくりを進めています。

こうしたネットワークでは、家づくりのプロたちと建て主のつながりが明確で、住宅の木材・建材の産地まで分かる「顔の見える木材での家づくり」が行われています。

国産材、地域材を使う5つのメリット

1. 森林が整備され、土砂崩れなどの災害が防げます
2. 木材を地産地消することで、地域の経済を活性化します
3. 輸送にかかる燃料の無駄を省けます
4. 木は木材となってからも吸収した二酸化炭素を放しません
   地域の木材をたくさん使えば大気の二酸化炭素削減に貢献できます
5. 地域の気候風土に合った家づくり、まちづくりができます

「家づくりグループ」の主な活動内容

ここで紹介する「顔の見える木材での家づくりグループ」は、さまざまなイベントを開催するなど、住宅の品質や技術の向上のための活動を積極的に行っています。グループごとに内容や特徴は異なりますが、主だった活動に次のようなものが挙げられます。

建て主への情報提供・サービス

家を建てようと考えている人たちに向けて、ホームページなどを通じて情報発信し、自然に親しむイベント、住宅見学会などを開催し、木材と木造住宅の良さや特徴を五感で体験できる機会をつくっています。また、建て主のネットワーク化にも取り組み、日々の手入れや修理などについてのケアを行っています。

森林で開催されたイベント

地域の自然素材・技術の活用

地元の木材を積極的に使うだけでなく、土壁、漆喰、和紙など、その地域にある自然素材も積極的に用いて、健康に永く住み続けられる家づくりをしています。また、伝統的な工法を取り入れ、大工、建具、左官など、職人の技術を継承する場をつくっているグループもあります。

自然素材を活かした和室

品質向上のための勉強会

品質向上に向けた取り組み

多くのグループが、設計基準、施工基準、検査基準などを独自に定めています。メンバー同士で定期的に勉強会などを行うなど、技術や知識の研鑽に取り組みながら、住宅の質の向上を目指しています。

連携による前向きな取り組み

木材供給者から大工・工務店まで、メンバーが連携することで、部材を開発したり統一したりと、家づくりの効率化・合理化を進める動きもあります。低価格でありながら、本物志向の住宅を企画するグループもあり、初めて家を建てる、若い子育て世代にも支持されています。

住宅の一次取得者に好評な企画住宅

岩手

宮古・下閉伊モノづくりネットワーク林産部会

選評 産学官が連携した活動であり、特に「産」は幅広いメンバーが集まっている。実績棟数はやや少ないが、需要が少ない地域においてがんばっている点が評価できる。

間伐体験ツアーやみやこ型住宅の見学会を開催して、情報発信をしている。

森林率9割を超える豊かな資源を活かす

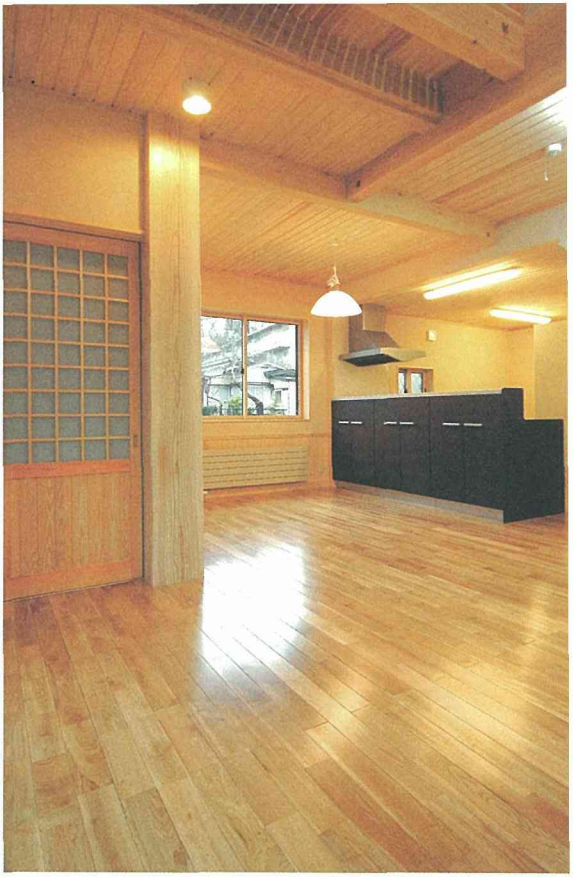
岩手県の宮古・下閉伊地域は、三陸海岸に面した県東部のほぼ中央に位置し、宮古市、山田町、岩泉町、川井村、田野畑村の5市町村があります。この地域は県内でも森林率が高く92％もあります。昨今では地域材の利用が減少してしまいましたが、ここには製材所、合板工場、集成材工場、プレカット工場、家具メーカーなど木材を利用する多様な加工施設が集まっています。住宅建築に必要な部材のほとんどがまかなえるため、一部の住宅設計・建築業者の間で、地域材を積極的に活用する動きが出てきました。

そこで、森林組合から建設業者までが会員となっている当グループでは、地域材・地域の木製品を8割以上かつ10㎥以上使

〒027-0072 岩手県宮古市五月町1-20　宮古地方振興局林務部内　TEL 0193-64-2215　FAX 0193-64-4594
E-mail takamatsu@pref.iwate.jp　http://forest.mono385.net/

グループ概要

【結成】平成13年11月
【受注実績】●平成17年／7棟●平成18年／7棟●平成19年／1棟●累計／27棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、大工・工務店、アドバイザー、地方振興局



宮古市周辺で伐採された無垢材を83%使用したみやこ型住宅。オール電化仕様で、全館暖房でも電気代は月平均14,800円以下を実現した。真冬でも豊富なこの地の日射をふんだんに採り入れ、明るい大空間を計画した。

「I邸」

所在地●岩手県宮古市
構造●木造2階建
建築面積●140.77㎡
床面積●1階93.57㎡　2階47.20㎡
竣工●平成18年11月
設計・施工●甲斐谷建築企画
概算坪単価●50万円

用すること、木材の見せ方を工夫して木の温もりが感じられることなどを条件とした「みやこ型住宅」の推進に取組んでいます。この事業を通して、地域の自然を守りながら生活や経済を豊かにするため、地域材利用の持続・拡大を目指しています。

みやこ型住宅で森林の再生を

甲斐谷修治・代表

地球温暖化が問題となり、CO_2削減が求められています。私たちは、荒廃した山を再生して少なからずCO_2削減に貢献するため、そして地域材の利用拡大のために「みやこ型住宅」を推進してきました。地域材の需要が拡大すれば、林業、木材産業など地域経済の活力を取り戻すことができます。また、森林が整備されれば、森林のもつ多面的な機能（水源涵養、災害防止、教育的機能）の回復ものぞめます。

しかし住宅1棟当たりの木材利用量はまだまだ多いとは言えず、私たちの思いを着実に前進させるために、より一層、この取り組みを理解、賛同していただくことが重要だと思っています。

●宮古・下閉伊モノづくりネットワーク林産部会

群馬

群馬西毛の家協同組合

選評

住宅設計事務所、プレカット工場、施工会社などメンバー間の連携がよくとれているだけでなく、工場見学会や建築現場見学会などの活動を定期的に行っている。

森林保全や二酸化炭素削減を図る「木づかい運動」に賛同し、「サンキュー（3・9）グリーンスタイルマーク」を取得。森林見学会など、地域の人々と直接ふれあえるイベントを展開し、森林の大切さと木造住宅の素晴らしさを啓蒙している。

優良な木材による高品位住宅

「からっ風」と「首都圏の水がめ」として有名な群馬県は、県土の3分の2が森林で、丈夫な木が育つ条件を備えています。なかでも西毛地域は、河川に恵まれ、優良な木材が生産される地域です。

「群馬西毛の家協同組合」は平成12年に県内の西毛地域の住宅設計事務所・プレカット工場・施工会社等のメンバーが連携し、高品位の住宅を低コストで提供するために設立されました。

瑕疵保証制度、住宅性能表示制度、ぐんま住宅完成保証制度に加入し、産地直送の自然素材を適材適所で使いながら、耐久性や耐震性、断熱性の高い「人と環境に優しい健康的な家づくり」を推進しています。

〒370-2213 群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉496-5　TEL 0274-74-7315　FAX 0274-74-6512
E-mail kumiai@seimounoie.jp　http://www.seimounoie.jp

グループ概要

【結成】平成12年3月
【受注実績】●平成17年／12棟●平成18年／10棟●平成19年／12棟●累計／113棟
【グループ構成】木材生産、製材、プレカット、大工・工務店、建築士

群馬県産材を用いて、現代的なデザインに仕上げた住宅。

「群馬西毛の家 K邸」

所在地●群馬県吉井町
構造●木造2階建
建築面積●92.33㎡
床面積●1階86.53㎡　2階66.24㎡
竣工●平成20年12月
設計・施工●原田建設
概算坪単価●55万円

また、モデルハウスはもちろん、実際に使用される木材を確かめることができる「木材センター」を開設しているほか、「無公害団地」と銘打って、ぐんま県産材、オール電化住宅の分譲地の販売も行っています。

自然素材を多用した健康な住まいを

原田栄市理事長

暮らしの中で地域の木材が家族を見守り、子どもの健やかな成長と豊かな情操を育む。さりげない日常を豊かに彩り、ここで暮らす人に豊かな気持ちを与えてくれる。「群馬西毛の家」とは、つくり手の顔が見える産地直送の信頼のおける住まいです。

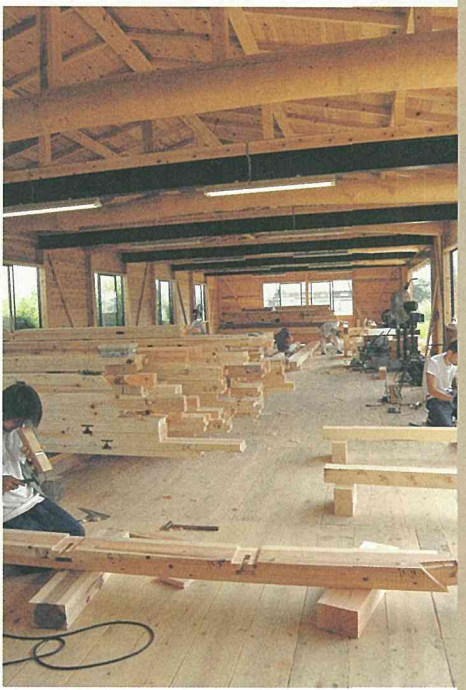
私たちは、常に森を大切にし、そこで育まれた木材のすばらしさを生かしています。合板や化学物質を極力使用せず、無垢の木や漆喰、珪藻土など自然素材を多用します。また、組合員がつくった粉炭を床下に敷き込み、湿気、臭いなどを吸着しマイナスイオンを発生させる「健康住宅」でもあります。建て主が、設計から施工まで積極的に参加できる体制を整えています。

●群馬西毛の家協同組合

栃木

八溝杉の家づくり協同組合

選評 施工品質の向上を図るための検討会など、グループ内での活動にとどまらず、完成住宅見学会なども積極性に開き、内容も充実している。



独自の規格寸法で製材した木材を大工が丁寧に刻んで家を建てる。若い職人の育成にも力を入れ、国家プロジェクト大工育成塾の塾生受入れなども奨励している。栃木、茨城、福島にまたがる林産地、八溝の杉を使っており、山の見学会も開いている。

子育て世代こそ本物の木の家を

栃木県の木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士による協同組合で、地域の八溝杉を使った家づくりをしています。〝日本住宅は経済力のある年齢層のもの〟というイメージを払拭し、若い家族にも本物の木の家を提供したいと考えています。シックハウス症候群が問題化し、アトピーや喘息の子どものご家族から、問い合わせが増えて、その想いはさらに強くなりました。

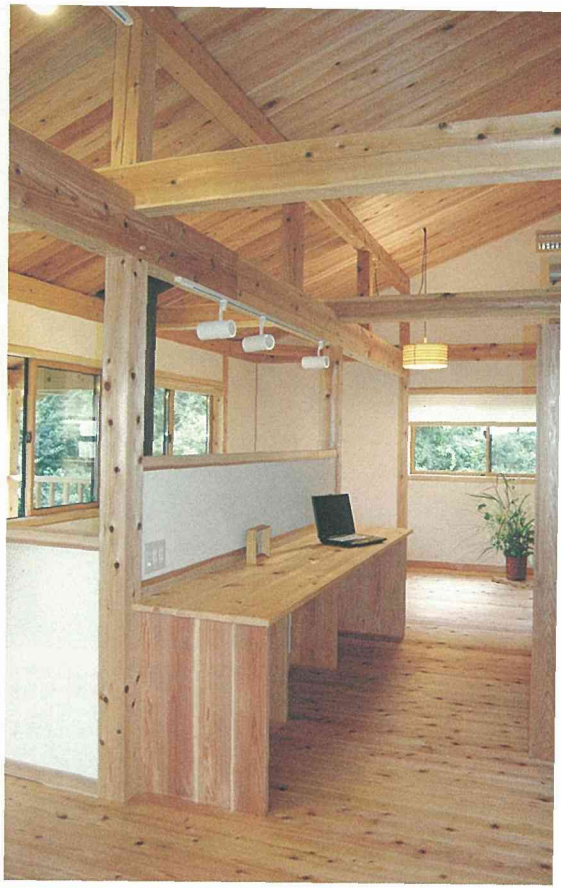
私たちは、樹齢60年以上の地域材を自然乾燥（葉枯らしなど）し、独自の規格寸法に統一して製材しています。これによって、ストック材の種類を絞り、規格寸法を活かした間取を提案しています。また、節の有無や反り、割れ、色味など

〒321-0617 栃木県那須烏山市上境289　TEL 0287-84-0270　FAX 0287-82-3473
E-mail info@maechou.co.jp　http://www15.ocn.ne.jp/~yamizo

グループ概要

【結成】平成12年9月
【受注実績】●平成17年／15棟●平成18年／10棟●平成19年／11棟●累計／52棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士

大工をはじめ、左官工、建具工、畳工など、職人集団による真壁構法の家を建てている。素足の家「大戸口」（おおどぐち）は、ひろびろ土間空間と吹抜のある伸びやかな１ＬＤＫ。



素足の家「大戸口」

所在地●栃木県宇都宮市
構造●木造2階建
建築面積●79㎡
床面積●1階79㎡　2階52㎡
竣工●平成20年7月
設計・施工●けんちくや前長
概算坪単価●約50万円（大戸口36坪標準価格）

にとらわれず、構造上強度が充分と認められるものは、無駄なく使用。１千万円台で住み始められる住宅を提案しています。また築９年になる常設展示場は、家づくりを検討中の方々へ公開するだけでなく、地域の習字サークル、チャリティーコンサートなどにも開放しています。

地域材を利用する意義を広めたい

前沢長一代表

地球環境への取り組みがますます求められている昨今、日本林業の活性化に貢献するためにも、地域材をブランド化し、地域材利用者へ補助金の積極利用をすすめています。また、日本の林業の現状とこれからの家づくりについての勉強会などを開催して、意識を高めています。環境問題や林業、暮らし方について同じ様に感じている方たちと交流することで、さらに広く周知できるように努めていこうと考えています。

組合員の中には、「とちぎの元気な森づくり県民会議」の木づかいスタッフとして、子供達の木工教室の講師ボランティアを勤めるなど、地域交流の活動にも積極的に参加しています。

●八溝杉の家づくり協同組合

栃木

家造りを考える会

選評

山側との連携は弱いが、建て主246名のリスト化を行い住まい手との交流を意識して活動している。活動理念も評価できる。

木は山で育ち、水は山から生まれる。見学会や勉強会を通して栃木の木を使う意味を知り、一人一人の暮らしに合った家づくりを考える。

みかも材による家づくり

私たちは建築士、工務店、材木店など家づくりの職人集団です。万葉集にも出てくる栃木県南部の三毳山周辺の「みかも材」を中心に、地産地消、自然素材の家づくりをしています。その啓蒙運動のために、木工教室、勉強会、見学会、フリーマーケットを兼ねた「古市」、会報誌の発行と多彩に活動しています。

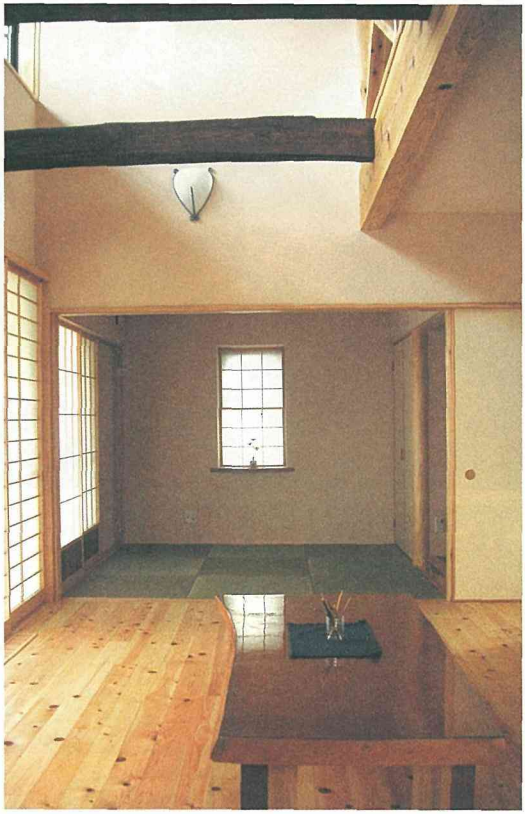
家づくりは楽しむもの、一生に一度の大イベントです。その過程はまさに十人十色。塗り壁講習会で左官を学んで、自宅の壁を塗る人もいます。アジアン風住宅を希望したSさんは、自分で柿渋を塗りました。サンタフェ風住宅をつくっているメンバーのK君は流木をとってきて、手摺りや飾りに生かしています。

〒328-0104 栃木県下都賀郡都賀町木464-1 TEL 0282-27-9217 FAX 0282-27-9217
E-mail ishimoto-k@cc9.ne.jp http://www.cc9.ne.jp~ishimoto-k

グループ概要

【結成】平成12年4月
【受注実績】●平成17年／4棟●平成18年／3棟●平成19年／3棟●累積／18棟
【グループ構成】木材販売業者・大工・工務店・建築士

主として天然乾燥させた檜、杉、松を使う。住宅が痛みにくいように軒を深くし、登り梁による大空間構造にして、将来の生活の変化にも対応できる家をつくっている。木造とは思えないモダンなデザインも可能。



N邸

所在地●栃木県下都賀郡都賀町
敷地●311.83㎡
床面積●1階77.22㎡　2階57.55㎡　合計134.77㎡
竣工●2008年8月（工期2008.1月～2008.8月）
設計●石本設計（石本俊光＋石本俊太郎）
施工●長谷川建築（長谷川茂）
構造●木造2階建（登り梁工法の持ち出し梁軒の出1.5m）

小江戸とちぎには百年以上経つ蔵がいっぱい残っています。永持ちの秘訣は、「親の代からの財産を、俺の代で無くすわけいかなかっぺ」の心です。その心をヒントに、孫の代まで百年二百年と愛される家づくりを目指しています。

大切なのは設計力と大工の技術

石本設計
石本俊光・代表

あなたの希望の家を建てるためには、設計士があなたの夢をキチンと図面にし、大工に図面通りの家をつくる技術があることが重要なポイントです。

例えば、右利きと左利きではキッチンのシンクの位置も異なります。私たちはあなたの生活習慣を図面に反映させること—設計力—を大切にしています。また、「家造りを考える会」の大工は、親方からしっかり技術を仕込まれ、設計図を見れば数奇屋でも和風住宅でもつくれます。蔵だって直します。

手づくりステンレスキッチン、檜板壁の浴室、オール電化、全室床下暖房。希望を形にするのが、私達の仕事です。さあ、あなたも御一緒しましょう。

●家造りを考える会

栃木

日光地区木材流通研究会

選評

林業主導型というめずらしいタイプのグループである。山とのつながりを重視し、山の所有者から工務店に至るまで、よく連携が取れている。

この森から産出される全ての丸太にはシリアル番号と二次元バーコードをつけて、伐採位置まで確認できる。製材した製品には産地・生産業者名を明記したステッカーを貼り、昔ながらの摺り版表示を行っている。

木材の流通を工夫して一棟分ずつ出荷する

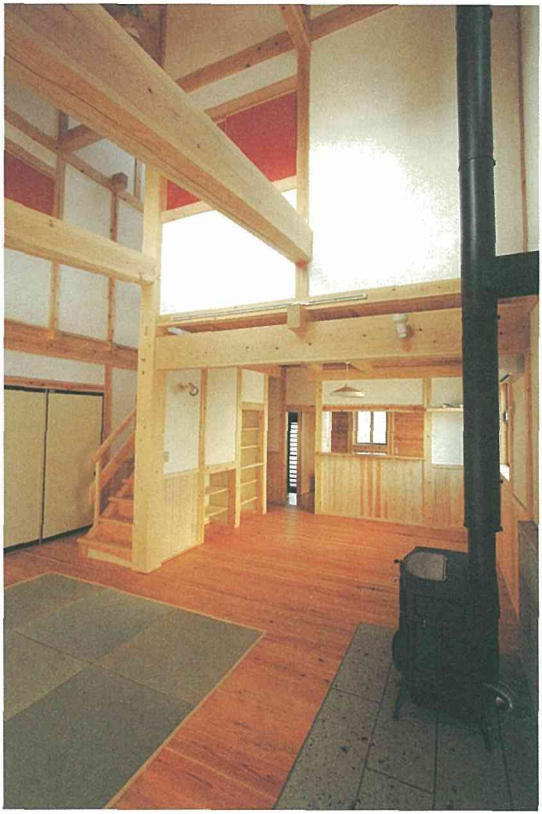
栃木県の西部、関東平野を抱いて広がる日光林業地帯では、古くから杉を中心に良質な木材が生産されてきました。この地で「木材の流通革命」という志をともにする林業家、材木業などの仲間が集まり、日光地区木材流通研究会（以下木流研）を設立しました。

私たちは家を建てる人のために必要な分だけ木を伐採しています。森の所有者と、木流研の林業・製材・材木業者、そして設計事務所、工務店などの協力会社まで全体でSGEC森林認証を受け、FM認証やCOC認証も取得したことで、材木の履歴を伐採した場所までさかのぼることができます。安全に確実に、住宅一棟ごとに木材を発注、出荷、加工できる地

〒322-0423 栃木県鹿沼市上粕尾870-2　TEL 0289-82-3007　FAX 0289-82-3308
E-mail wood-kun@takami-rin.jp　http://www008.upp.so-net.ne.jp/moku/top.htm

グループ概要

【結成】平成12年6月
【受注実績】●平成17年／3棟●平成18年／5棟●平成19年／14棟●累計／45棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、設計士



地元の杉、檜をふんだんに使用するとともに、宇都宮の大谷石、烏山の和紙、粟野の麻紙、益子の陶器、葛生の漆喰といった栃木県内の素材を積極的に使用。

「Y邸」

所在地●栃木県さくら市
構造●木造2階建
建築面積●88.33㎡
床面積●1階82.81㎡　2階53.82㎡
竣工●平成20年3月
設計・施工●木流研ネットワーク
概算坪単価●65万円

域のシステムを構築しました。
　また、建て主自らが大黒柱や大梁となる木を選別、伐倒し、その枝を挿し木して育てて、苗木として山へ命を戻す林業体験を勧めています。我々は小さな会社の集まりですが、木のぬくもりと愛情に満ちた家づくりのお手伝いをしています。

林業家として建て主の顔を知る

齋藤正代表

　200×年×月×日。晴れ。2人のお子さん連れの若いご夫婦が、大黒柱を取る木を探して山にやってきました。直感で選んだ杉の根元に、慣れない手つきでチェーンソーを入れる。地響きをたてて30mを超える木が倒れた瞬間、歓声とともに奥さまの目から涙が――。
「私たちが家を建てなければ、80年も生きてきた木を伐らずに済んだのに」。複雑な想いで伐採した杉の木は、これからはあなた方の家を支え家族を見守ってくれます。この感動と思い出は家に対する愛着となることでしょう。
　私たち林業家、製材業者も建て主の顔を知ることで、その家への責任感が生まれ、やり甲斐を感じています。

●日光地区木材流通研究会

茨城

八溝の家づくりグループ

選評 グループ内の連携もよく、積極的に消費者向け活動や仲間同志の活動を実施。施工基準や建方～中間～最終までの検査体制も整備され、安定して多くの住宅を建てており信頼性がある。

山や製材工場の見学会を通して、山の現状や八溝材に関する啓蒙活動を行っている。

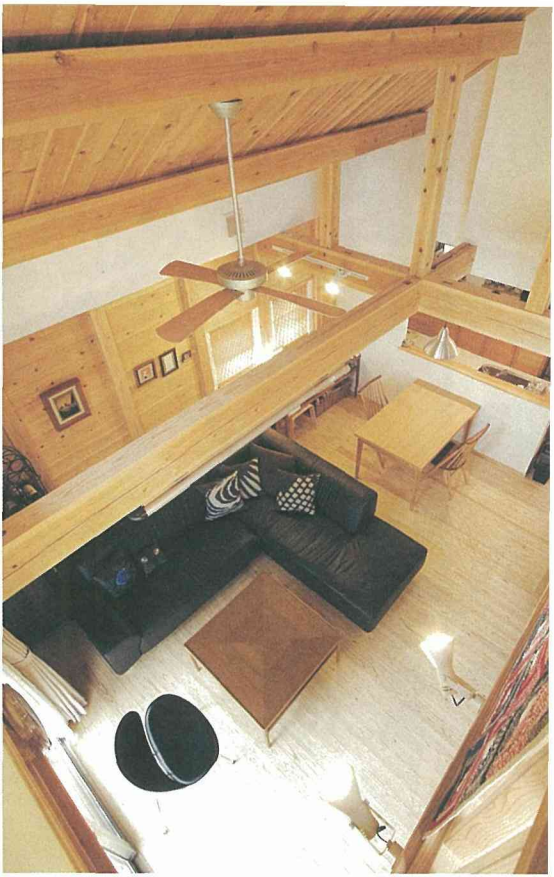
リサイクル活動は木材にとどまらない

茨城県で採れる良質な八溝材の普及を目指し、製材業者と大工、工務店、住宅リフォーム業者が協力して、住宅や住宅資材、家具などをつくっています。

八溝材とは茨城・栃木・福島の3県にまたがる八溝山の木材のことで、檜や杉が中心です。通直な立木が多く、目詰み材で黒芯材があまり出ません。風倒木、雪害木が少なく、値段が割安であるといったメリットがあります。住宅に適した樹齢の人口林が豊富にあるため、積極的に利用していく必要があります。

一方で植林など山の環境改善にも取り組んでいます。山での活動とは別に、中学生の職場体験授業を受け入れたり、田んぼオーナー制度によるコメ作り体験の

グループ概要
〒310-0026 茨城県水戸市泉町1-4-28　TEL 029-227-1040　FAX 029-227-5530
E-mail tishikawa@kk-tosho.co.jp　http://www.kk-tosho.co.jp
【結成】平成11年8月
【受注実績】●平成17年／108棟　●平成18年／101棟　●平成19年／116棟　●累計／3224棟
【グループ構成】製材業者、大工・工務店、住宅リフォーム業者



自然素材を使った、健康的で開放感ある住宅。リビングの吹き抜けは、梁、桁がアクセントとなっている。2階からもリビングやキッチンを見渡せるため、離れていても存在を感じることができる。また、今まで利用しにくかった小屋裏や、床下のスペースも有効に使えるようにした。

「赤津邸」

所在地●茨城県水戸市
構造●木造地下1階地上2階
建築面積●66.24㎡
床面積●地下1階13.24㎡
　1階66.24㎡　2階39.74㎡
竣工●平成19年11月
設計・施工●棟匠
坪単価●47.7万円

実施など地域貢献にも取り組んでいます。製材工場から出るおがくずやバークで肥料や牛の敷き床を作ったり、田んぼオーナー制度で刈り取った藁を畳床にするなど、さまざまなリサイクル活動も行っています。

大切なのは森林を循環させること

棟匠
石川忠幸代表

住宅に適した高樹齢の杉や檜の森はCO_2吸収力が弱まり、逆に呼吸が増えてしまうことをご存知ですか？　これらの木々を伐採して木材にし、一方で若い木を育てることで、山林はCO_2を削減できるようになります。木を伐採することは、悪いことのように勘違いされがちですが、伐採して植林するという森林の循環が重要です。そのために私たちは、八溝材による安定した住宅の供給に力を入れています。

また、WHOが提唱する「健康・快適・能率・安全」を理念とし、健康住宅8条件（高気密、高断熱、ベーパーバリア、西日遮蔽、全熱交換換気、全館冷暖房、全面輻射、風の道設計）を取り入れ、「自然素材」を使って、伝統的な木造住宅に最新の性能をプラスすることで高品質な住まいを建てています。

●八溝の家づくりグループ

埼玉・東京

特定非営利活動法人 木の家だいすきの会

選評

NPOとして地域再生を掲げ、多様な取り組みを実践している。木造住宅の構造・性能、樹種ごとに異なる木材の特徴について勉強会を開催するなど建て主向けの活動も積極的である。

葉枯らし材の見学会や、住宅見学会を通して、家づくりの過程を学べる。建て主みずから奥武蔵の森に入って木を選ぶこともできる。

木の家づくりで奥武蔵の木を保全する

NPO木の家だいすきの会は、木の家を計画中、または関心があるという一般会員と、家づくりに携わる林業家、製材所、材木店、設計者、工務店、建具職人、手作り家具職人、左官職人などの専門会員からなる組織です。「森に緑を、住まいに木を」を理念に、武蔵野をフィールドとして、奥武蔵の森の木（西川材、ときがわ材、多摩産材など）を使って木の家をつくり、地域の森を保全するために設立しました。

一般会員は、セミナーや見学会に参加でき、実際に家を建てる際には、私たちがコーディネーターとなって設計者や工務店を探します。家づくりは専門会員による「サポートネットワーク」が担当し

〒359-1116 埼玉県所沢市東町11-1-1704　TEL 04-2926-6045　FAX 04-2926-5743
E-mail office@kinoie.org　http://www.kinoie.org

グループ概要

【結成】平成14年3月
【受注実績】●平成17年／4棟●平成18年／5棟●平成19年／8棟●累計／32棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士、コーディネーター

サンルームと広いバルコニーは、植物を置く陽だまり。サーマスラブ（地熱利用蓄熱式電気床暖房）も特徴の一つだ。建て込んだ住宅地だが、明るく風通しの良い家を実現している。

サンルームのある木の家

所在地●東京都武蔵野市
構造●木造2階建
建築面積●116㎡
床面積●1階59㎡　2階57㎡
竣工●平成19年12月
設計●市川均（アーキネットデザイン）
施工●笹森昭雄（笹森工務店）
概算坪単価●75.9万円（床暖房設備除く）

ます。サポートネットワークは、無垢の木や漆喰の知識と経験を持つ設計者と、職人の技術を受け継ぎ、武蔵野で長年仕事を続けてきた地元の工務店で構成されます。西川材、ときがわ材、多摩産材の奥武蔵の3つの産地の林業家や製材所が地域の優良な杉、檜などを提供します。

地域の木材をつかって職人の技術を受け継ぐ

鈴木進代表理事

「100年かけて育てた木は、100年大事に使う」ことを重視しています。森の循環と家づくりの循環のバランスがとれれば、森林資源が保全されるからです。奥武蔵の森は規模も小さく、大半が杉と檜です。これらは葉枯らし乾燥をして構造材に用い、多様なニーズがある内装材は、全国の優良な産地の国産材を産直方式で仕入れています。また、設計から施工まで建築家がかかわってすぐれたデザインを提案し、大工の刻みの技術や左官の漆喰技術をきちっと継承した家づくりをしています。私たちは健康的で丈夫で永持ちする家を推奨しています。マンションリフォームなども受けています。

●特定非営利活動法人木の家だいすきの会

千葉

特定非営利活動法人 ちばの山を愛する家造りネット

選評 板倉づくりなど地域材を多用するための積極的な取り組みをしている。若いメンバー達が、環境団体と連携し、情報発信、体験イベントを開催するなど活動に特徴がある。

「顔の見える家づくり」のために、木材には「ちば山」の焼き印を押している。伐採日や製材日などを記し、材木の生産の流れを示した証明書を建て主に届けている。

家づくりを通して故郷の森を残したい

房総で生まれ育った仲間が集まって、子供の頃に遊んだ森林を後世に残すために「ちばの山を愛する家造りネット」を結成しました。

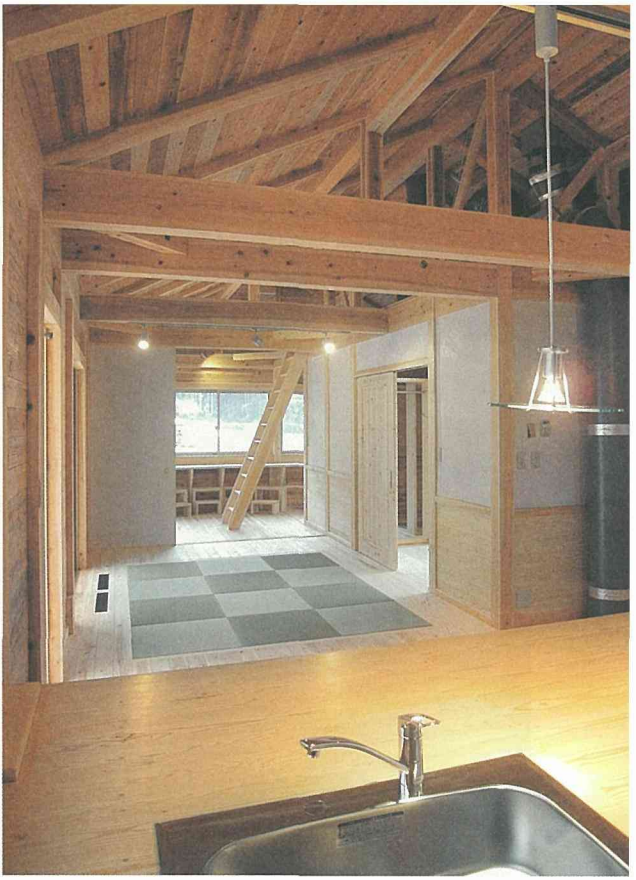
房総（夷隅・安房・君津地区）の森林率は千葉県でも広く、50％を超えます。このうち人工林の比率は40％弱。その大半が杉と檜です。この木材を使った家づくりを推進して林業の活性化を促し、ひいては房総地域の森林を再生することを目標としています。そのために、山、林業家、製材所、設計士、工務店、建て主をつなぐ家づくりのサイクル（供給体制）を構築しました。千葉県産材の住宅を企画し、木材の生産を合理化するために規格化も進めています。勉強会や山の体験

〒266-0005千葉県千葉市緑区誉田町2-29　TEL 043-291-0586　FAX 043-291-1332
E-mail shinya.n@m-omosiro.com　URL http://www.chibayama.ne.jp　BLOG http://omosiro.exblog.jp
グループ概要
【結成】平成12年9月　【受注実績】●平成17年／11棟●平成18年／9棟●平成19年／10棟●累計／30棟
【グループ構成】正会員（林業家、製材所、建築士、工務店、経営コンサルタント）
メーリングリスト会員（林業家、建築士、工務店、経営者、NPO、大工、一般ユーザー、行政）

「ちば里山の家」

所在地●千葉市緑区
構造●板倉造平屋
建築面積・床面積●72㎡
竣工●平成20年1月
設計・施工●松村工務店
概算坪単価●75万円（OMソーラー含む）

千葉市内にありながら、里山風景が満喫できる地域に建つ板倉造の住宅。暖房換気に太陽熱を利用するOMソーラーを取り入れ、造園家である建て主が郷土樹を植栽したことで、CASBEE(建築物総合環境性能評価システム）では、環境性能効率S（スペシャル）ランクの評価を獲得した。



イベントを実施し、広報にも力を注いでいます。

同じ風土、気候で育った木の家に魅力を感じ、愛着をもって手入れをしながら暮らしていく。そんな建て主たちと、家づくりの喜びを共有していきたいと思っています。

自然豊かな房総で自給自足のススメ

柏原博文 理事長

千葉房総は、東京から電車で1時間少々、車での交通の便もいい場所です。六本木でジャズを聴いたり、銀座でお芝居をみたりしても、なんとか日帰りできる近さでありながら、自然がいっぱいの田舎暮らしができます。ここでエネルギーも食べ物も自給自足のライフスタイルを実現してみませんか？

横浜、埼玉、東京から移り住んだ仲間が畑の作り方などの情報を交換しながら楽しく暮らしています。地域の材をつかって地域の匠がつくった家で、自然の果実を収穫し、海や太陽の恵みを享受する。そんな住まいづくりをお手伝いいたします。まずは「ちば山」に遊びに来てください！

●特定非営利活動法人ちばの山を愛する家造りネット（ちば山）

千葉 さんむフォレスト

選評 設計者、工務店主体のグループだが、山側との接点もある。風土の再生・地域の再構築を目指し、積極的に地域材をつかって風土に根付いた伝統構法に取り組んでいる。

森林ウォッチングやシンポジウムなどを頻繁に開催している。山武市の材木商と工務店がつくった有限責任事業組合（LLP）グループ「木と土の家」とも協力して、運動を展開。

山武杉を余すことなく使って

「さんむフォレスト」は地産地消の住まいづくりを提唱する千葉県のグループです。地元の技能者が、地元の山武杉を使って伝統的な構法の家を建てることで、健康的で耐久性の高い住まいを提案しています。

メンバーは全員建築士ですが、その立場は建築家、材木商、大工など様々です。住まいづくりが、林業の支援となり、技能継承の場となって地域を循環することを目指して活動しています。

私たちが提案する住まいでは、山武杉を灰になるまで使い切ります。骨太の空間に薪ストーブを据え、残材を焚き木として活用して、エアコンのいらない暮らしを可能にするのです。機械に頼る省エネではなく、環境と共生する暮らしを実

〒283-0067 千葉県東金市東上宿13-1　TEL 0475-52-7510　FAX 0475-52-7511
E-mail info@sanmu-forest.com　http://www.sanmu-forest.com/

グループ概要

【結成】平成10年3月
【受注実績】●平成17年／3棟●平成18年／3棟●平成19年／3棟●累計／25棟
【グループ構成】木材販売業者、大工・工務店、建築士

千葉県特産の山武杉でつくった家。極力金物を使わない伝統的な木組を基本とし、外壁も山武杉の赤身板の素地である。越屋根をつけて自然換気を促しているため、エアコンを必要としない。露出した木組の裏側には、LAN配線をはりめぐらし、現代の暮らしにも応えている。

「山下邸」

所在地●千葉県佐倉市
構造●木造2階建
建築面積●119.09㎡
延べ床面積●129.72㎡
設計●稗田綜合建築設計事務所
施工●石井工業
概算坪単価●75万円

現します。産業廃棄物とされてきた残材をエネルギーとして利用することは、林業再生の決定打となるのではないかと思っています。

住まいづくりを地域産業の中心に

稗田綜合建築設計事務所
稗田忠弘代表

私たちは、さまざまなセミナーやイベントを通して、家づくりや暮らしは、地域の環境とひとつの輪としてつながっていることを訴えています。私たちの活動では、住まいづくりを地域産業の中心とすることで経済効果が生まれることを目標にしています。そこで、地元の材木商と工務店による有限責任事業組合（ＬＬＰ）グループ「木と土の家」を組織し、さんむフォレストと両輪となって活動しています。

その甲斐あって、各種イベントを通じて地元の自治体などに提案し続けてきたことが、徐々に理解されるようになってきました。家づくりへの助成事業や、公共施設でのペレットストーブの利用、ペレット製造の開始などが、具体化しています。

●さんむフォレスト

東京

ワークショップ「き」組

選評

設計事務所が主体となったグループ。伝統的な木組により生活の変化に対応できる架構体づくりなどを提案し、住宅のプラン・仕様の統一化や寸法の標準化などに取り組んでいる。

建て方は職人にとって最も華やかで誇らしい日。この日に行われる構造見学会では、蔦が柱と梁を組み上げていくダイナミックな工程を見ることができる。

伝統的な木組の家で山と技術と伝統を守る

ワークショップ「き」組は、山と職人と設計者の集まりです。無垢の木の家に住みたいと考える住まい手に、手の届く価格でよい家を提供したい。伝統の技を持つ腕のよい職人さんたちによい仕事を残してもらいたい。荒れている日本の山に再び木を植えて〝美しい山〟に戻したい。こんな思いから、共存共栄の仕組みを実践しています。

私たちは材木の規格寸法（3m、4m、6m）で木組の架構を計画しています。これによって私たちは天然乾燥材を手に入れやすくなり、山は材をストックしやすくなります。あいまいな価格設定のないガラス張りの見積りをし、材木を山から直接買うことでお金の流れが明確にな

〒165-0023 東京都中野区江原町1-46-12-203　TEL 03-3951-0703　FAX 03-5996-1370
E-mail info@kigumi.jp　http://www.kigumi.jp

グループ概要

【結成】平成15年2月
【受注実績】●平成17年／4棟●平成18年／2棟●平成19年／3棟●累計／16棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、大工・工務店、建築士

建て主の紹介で、檜原村の田中惣次さんの材木を使った住宅。ファサードに象徴的に檜を十字に入れ、モダンな仕上がりを伝統構法で実現している。

「葛西の家」

所在地●東京都江戸川区
構造●門型架構、足固め・貫構法
建築面積●62.51㎡
床面積●1階57.28㎡　2階47.08㎡
竣工●平成18年4月
設計●松井郁夫建築設計事務所
施工●風基建設
概算坪単価●約65万円

って、適正価格で住まい手に木組の家を提供することができます。

山の木が循環し、建てた家は世代を超えて住み続けられ、日本の伝統が守られていく家づくりは、みんなが元気になれる家づくりです。

木組の家で地球環境に貢献を

松井郁夫
建築設計事務所
松井郁夫代表

ワークショップ「き」組は、近くの山の木と職人の技による木組の家が、適正価格で実現できる仕組みです。

独自に開発した鳥居型の「門型架構」は、シンプルで力強いばかりでなく、間取り変更などにも柔軟に対応できる、すぐれた構造です。柱・梁だけでなく、天井、床にも無垢材を使って現しとし、外壁は土壁風藁入りモルタル、内部仕上げは漆喰塗りを共通仕様としています。

木組の家を建てることは、地球環境への貢献につながります。山を保全することはわたしたちの生活の舞台を保全すること、職人技術を伝承することは日本の伝統文化を継承することでもあるのです。

●ワークショップ「き」組

東京

青ヒバの会

選評

産直住宅の先駆けとして永く活動しており、安定感がある。抗菌性を持つ青森ヒバを使用しながら、しっかりとした基本理念を持って大都市圏での伝統構法の家づくりを行っている。

森林浴ツアーでは、係官の指導を受けながら植樹を行うこともある。構造や完成見学会には、これから家を建てようと考えている人たちが集う。

建築家が住み手とつくり手の間を仲立ち お金のことまで分かるセミナーも

「青ヒバの会」の活動は国有林から産出する青森ヒバ材の普及活動と、建築家主導の良質な住まいづくり運動が一緒になって始まりました。

山（国有林）、製材（青森の製材所）、施工（首都圏の工務店）の三者を、建築家が仲立ちして、木材を原産地価格で建て主に提供するネットワークです。

材の品質確保、コスト、そして住み手のニーズを三者に理解してもらうことがネットワークの重要な活動です。

林野庁とも情報を交換しつつ、森林浴ツアーや構造見学会、住宅完成見学会、各種セミナーも行っています。とくに、森林浴ツアーは、家を建てようと考えている人たちと、家のつくり手、青ヒバの

本部　〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-3-20-504　TEL 03-3779-0608　FAX 03-3779-0653　グループ概要
E-mail info@aohiba.net　http://www.aohiba.net
【結成】昭和57年5月　【受注実績】●平成17年／10棟　●平成18年／8棟　●平成19年／7棟　●累計240棟
【グループ構成】森林施業者、木材製材販売業者、大工・工務店、建築士、その他（建具職、床暖房施工者、土地家屋調査士）
（「青ヒバの会・京都」もある）

外壁は土壁と青ヒバ材、内部は漆喰、和紙など自然素材で仕上げた。建具は青森の匠による框戸。中央の吹き抜けは、風の通り道でもある。床暖房も施し、和洋のデザインが融合した住宅である。

「寺山邸」

所在地●神奈川県二宮町
構造●木造2階建
建築面積●100㎡
床面積●1階88㎡　2階67㎡
竣工●平成19年12月
設計●市川総合設計室
施工●土濃塚建設
概算坪単価●64万円

家の住まい手が一堂に会する交流の場です。また、セミナーでは、欲しい家の概要と、掛けられる予算が一目で組み立てられる住宅計画概要シートを用いています。概算予算の組み立て方のコツもこのセミナーで知る事が出来ます。

自ら呼吸する「青ヒバの家」

市川皓一代表

日本の家は昔から暮らしの中に自然を取り込んできました。庇を深くして夏の日差しを遮り、屋根上と軒下の温度差で風を取り込めば天然のエアーコントロールが可能です。吹き抜けや越屋根を作れば、室内を緩やかに風が動いて木の呼吸をうながし、住宅の寿命をのばすことができます。

私たちは「熱交換型集中換気システム」を採用した高気密住宅に抵抗を感じています。エコ住宅とは自然の力で呼吸する健康な家ではないかと思います。

天然林の青森ヒバを構造材、内装材、仕上材に使い切り、残りをさらにおが屑にして、ヒノキチオールを採取する。無垢の樹を使った青森ヒバの家を、私たちは大都会の森と考えています。

●青ヒバの会

東京

協同組合　匠の会

選評

設立は古く、安定して多くの住宅を建ててきた実績があり、信頼もある。完工保証制度、設計・施工マニュアル等も整備されている。工務店と製材業者のグループだが、山とのつながりも模索している。

匠の会の工務店が出資した人工林「匠の故郷」。地元の小学生たちも育林に参加する。

優良工務店による国産材での家づくり

昭和54年、「匠の会」は、優良工務店審査委員会の厳しい審査を経た首都圏の工務店が集まって結成しました。地域主義をモットーに、現在、会員は17社あります。平成9年には和歌山の製材会社・山長商店と提携し、産直の紀州構造材を使うようになりました。これが転機となり、樹齢60年以上の木で家をつくる「樹の家」は、匠の会を特徴づけるプロジェクトとなりました。

平成17年9月からは「樹の家・龍神の森」をスタートしました。樹齢100年の龍神の森からとれる良質な木材をつかって限定100棟の家を建てるというもので、木材の出荷証明書も発行します。木を使う分、建て主からは森の再生の手伝いと

〒104-0045 東京都中央区築地6-4-5シティスクエア築地404号　TEL 03-6228-4500　FAX 03-6228-4501
E-mail info@takumi.or.jp　http://www.takumi.or.jp

グループ概要

【結成】昭和54年6月　【受注実績】●平成17年／200棟●平成18年／210棟●平成19年／219棟●累計／5040棟
【グループ構成】工務店17社（ほかに関西、中部、九州・山口にも連合会あり）、　木材生産・製材・販売会社

構造材だけでなく内装にも無害の自然素材を使う。施工にあたっては、完成まで匠の会が責任を持つ「完工保証制度」と、第三者機関による「施工検査制度」を実施している。

「自然回帰の家」

所在地●埼玉県さいたま市
構造●木造在来軸組工法2階建
床面積●1階62.79㎡　2階45.44㎡
竣工●平成19年9月
設計・施工●千葉工務店
概算坪単価●70万円

して育林費12万円を出資してもらい、森林の循環が生まれる仕組みをつくりました。さらに、一昨年には工務店が出資して人工林を育成する環境事業「匠の森プロジェクト」も始めました。

工務店が山を育て森のサイクルを作り出す

高橋正成理事長

近年、わが国の人工林は不健全な状況になりつつあります。放置すれば国土の劣化、林業の衰退、CO_2排出量の増加など、国の将来を危うくしてしまいます。すでに行政や企業が様々な取り組みを始めていますが、問題の根には「国産材需要の不安定さ、見通しの無さ」があります。いくら人工林を育成しても、その木々が使われなければ山にお金が戻らず、『伐採→植林→育成』というサイクルは生まれません。

私たちは「匠の森プロジェクト」として、和歌山県田辺市で人工林「紀州・匠の故郷（さと）」の育林を始めました。地元小学生や都会で暮らす様々な立場の人にも育林に参加してもらい、60年後にこの木で家を建てることを実現させたいと思っています。

●協同組合　匠の会

山梨

山梨の木で家をつくる会

選評

これから家を建てる人に向けた情報発信だけでなく、若手建築家の研修など、会員同士の研鑽活動も積極的である。「顔が見える木材での家づくり」活動を多岐にわたって行っている。

山では森林の重要性、山を守ることの必要性を伝え、家づくりの勉強会を通してつくり手との出会いを積極的につくっている。

つくり手と住まい手がともに考え学ぶ機会を大切に

山梨を愛する建築家（山梨ＡＣＤ建築設計協同組合）の呼びかけに、木材生産者（やまなし木材ネットワーク）と、製材・加工者（山梨県木材製品流通センター協同組合）が賛同し、平成17年10月に発足しました。工務店、木工関係者、一般の方も加わり、山梨の木を地産地消することで持続可能な「環境にも人にも優しい住まいづくり」を目指しています。

活動の柱の一つは、一般の方向けに月に一度開催している「住まいの勉強会」です。山梨の気候や環境を学び、つくり手と住まい手が共に地域にあう家づくりを考えるきっかけとしています。また、植林や伐採体験、製材所見学では、林業家の思い、森林の持つ力、木取りの大切

〒400-0211 山梨県南アルプス市上今諏訪850-1　TEL 055-284-8888　FAX 055-284-8890
E-mail info@y-moc.com　http://www.y-moc.com

グループ概要

結成【結成】平成17年10月
【受注実績】●平成17年／6棟●平成18年／15棟●平成19年／14棟●累計／51棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、大工・工務店、建築士、ユーザー

主要構造体は、地域材の杉・檜で、内外壁と床材は県産材の杉板で仕上げた。内壁は調湿作用のある漆喰も取り入れている。また、南の軒を深くして夏の日差しを避け、小屋裏スペースを通り抜ける風の道をつくり、エアコンがなくても暮らせる環境共生型の設計である。

「S邸」

所在地●山梨県甲府市
構造●木造＋RC造2階建
建築面積●55.91㎡
床面積●1階26.5㎡　2階53㎡
竣工●平成19年4月
設計●山梨ACD建築設計共同組合
施工●てづか
概算坪単価●坪単価:62万円（木造本体約56万円）

さを伝えています。住宅の現場見学会では、大工など職人の気遣いや、本物の素材のぬくもりを体感できます。

一方、設計士や工務店向けにも、家づくりの専門家としての知識と意識の向上のため、勉強会を開いています。構造材の強度実験なども独自に実施しています。

熱意と手間をかけ、素晴らしい家づくりを

山中貞行代表

私たちが主催する勉強会や住宅見学会、また、木の伐採・製材等の現場見学に気軽に参加してください。家づくりにとって大切なこと、つくり手の考えを知ることができ、参加者との語らいの中から、ご自分の暮らしを描くことができると思います。

家には、住まい手とつくり手の感性が表れます。これからの家には、環境への配慮が必要です。気候や風土そして地域資源（木材・紙・土・竹など）を取り入れた気持ちのいい家づくりを共に進めましょう。家づくりに多くの時間をかけることは、無駄ではありません。熱意と手間をかけた家は必ず良い結果をもたらしてくれます。

●山梨の木で家をつくる会

山梨

協同組合　山梨県産材健康住宅研究会

選評　全面的に「健康」を押し出して、積極的に建て主向けの活動や、グループ内の活動を行っており、コンセプトが明快である。

一般人を対象に山の現状を学び伐採体験をする森林体験ツアーを行っている。健康住宅の普及を目指し、イベントに参加したり住宅見学会なども積極的に行っている。

人にも地球にも優しい健康住宅を県産材で

山梨の県産材を活用し、健康にも環境にも配慮した住まいを普及させたい――これが当会設立の原動力となりました。私たちは地元の小さな建築関連専門業者による異業種の協同組合で、組織の維持には費用をかけず、県産材による健康住宅を広げていこうと取り組んでいます。私たちの使う木材はすべて無垢の木で、大半が県産材です。木材を地産地消することが、環境、住まいと風土、地域の経済や景観形成の面からも重要だと考えるからです。組合員が製材を行うことで木材の身元を明確化しています。また、私たちのつくる健康住宅は、木材はもちろん、その他の建材についても可能な限り有害化学物質の削減を追求しています。

〒400-1103 山梨県甲府市平瀬町399-9　TEL 055-251-8595　FAX 055-251-8701
E-mail vernacular_alps@yahoo.co.jp　http://www.geocities.jp/vernacular_alps/

グループ概要

【結成】平成17年4月
【受注実績】●平成17年／6棟●平成18年／8棟●平成19年／12棟●累計／44棟
【グループ構成】製材業者、大工・工務店、住宅資材販売業者、土地売買業者、電気工事業者ほか

県産材を使った健康住宅で、太陽の熱を生かすパッシブソーラーも利用。漆喰壁、県産材の建具と座卓、和紙の照明器具、国産減農薬畳と、建材も妥協せず選んでいる。

「南部展示場　“蔵の家”パッシブソーラー」

所在地●山梨県南巨摩郡南部町本郷706-10
構造●木造2階建
建築面積●85㎡
延べ床面積●146㎡
竣工●平成19年4月
設計●MIX建築デザイン二級建築士事務所
施工●健康住宅センター
概算坪単価●55万円（税別）

建材は自然素材を基本に、可能な限り土に還るもの、再利用・リサイクルしやすいもの、廃棄時に環境への負荷が小さいものを選んでいます。一人でも多くの方に私たちの健康住宅に住んでいただき、次世代により良い地球環境と持続可能な社会の礎を引き継ぎたいと望んでいます。

本物の健康住宅をコストを抑えて実現

理事長
近藤 渉

当会の健康住宅は「坪単価48万円」から提供しています。伝統的な「田の字型工法」を採用して、安定した構造、充分な強度を確保しています。

この工法では、製材の規格化が可能で、床や壁、建具材等、木材を無駄なく利用できるため大幅に建設コストを削減できました。健康をうたう住宅にも不確かなものが多いなか、私たちは厳しい自己基準を設定し、室内空気環境の汚染物質濃度を測定、数値を公表し、「健康住宅」を名乗る責務を果たしています。

地球温暖化が懸念される中、地域の資源活用を徹底する事で、流通コストだけでなく二酸化炭素の削減も視野に入れた取り組みをしています。

●協同組合　山梨県産材健康住宅研究会

長野

北信濃の森と匠を活かす家づくり研究会

選評

発足して間もないこともあり、実績棟数は少ないが、伝統構法を用いた取り組みや、独自工法の開発、構造実験など積極的に活動している。今後の成長にも期待できる。

住宅相談会や森林セミナー、木材の伐出・製材・乾燥現場の見学会では、自分たちの家に愛着をもってもらい、この地の環境を取り巻く問題に関心を持ってもらうことを目標としている。

信州の木と伝統の技を、現代のデザインに活かして

「森を活かす」「匠を活かす」この2本の軸が私たちの基本理念です。信州の木材を地産地消の家づくりに活かし、伝統的な大工技能の継承を現代的なデザインと融合させることが目的です。

効率重視で機械的な家づくりが主流となっている昨今、大工をはじめとする職人、匠の技術が急速に廃れてきています。伝統的な技術を継承しようにも、技術を発揮できる場が少ないのが現実です。

そこで、本グループでは、製材所が信州の材木を供給し、現代の匠である建築家がデザイン・機能のすぐれた設計をし、大工たちの丁寧な手仕事によって家をつくりあげています。

本来住宅は、全国一律のモデルプラン

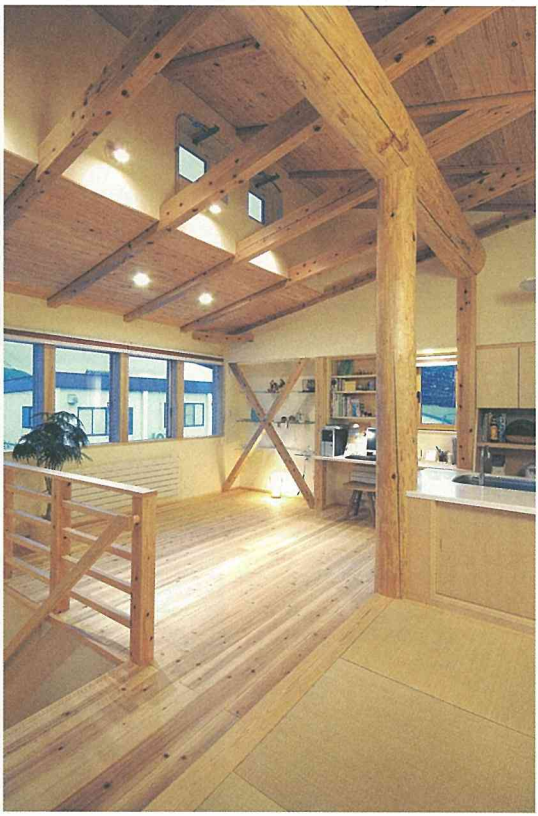
〒380-0947 長野県長野市平柴1582-1-A　TEL 026-214-3077　FAX 026-214-3077　グループ概要
E-mail info@shimo-a.com　http://www.mori-takumi.net

【結成】平成17年11月

【受注実績】●平成17年／1棟●平成18年／6棟●平成19年／5棟●累計／18棟

【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士、研究開発者、手漉き和紙職人、ファイナンシャルプランナー

既存住宅の庭先に建てた若世帯用住宅。地場産杉材を構造材に、唐松板材を内外の仕上に多用し、木の良さを活かしながら現代的でシンプルなデザインにまとめた。



YS邸

所在地●長野県須坂市
構造●木造2階建
建築面積●102.5㎡（31坪）
床面積●1階47.0㎡　2階55.5㎡
竣工●平成19年5月
設計●下崎建築設計事務所
施工●野村建設
概算坪単価●70万円

によってできた商品を「買う」のではなく、建て主の考えや暮らし方、長期的なライフプラン、敷地の成り（状況）を十分に検討して「つくる」もの。そんな思いを念頭に、私たちは建て主と地域のためのオリジナル住宅をつくっています。

「設計力」は森を活かし、匠を活かす原動力

下崎建築設計事務所
下崎明久・代表

私たちが基本理念を実現するうえで重視しているのは「住宅の設計力」です。設計力とは、木材の仕様を決め、地場産木材をどこに・どんな樹種を・どれだけ・どのように使うか定めることです。加えて、建て主のライフスタイルに添った機能的な生活動線と良質な空間を生み出し、個性に富んだ外観のデザインをすることでもあります。施工業者は、グループ内の複数の工務店・建設会社から見積りをとったうえで選びます。建設にあたっては、建設会社の自主管理に設計事務所の監理が加わることで、適正な現場管理とコスト管理をしています。建て主、設計者、施工者が信頼関係を築くことが、よい家づくりにつながると信じています。

●北信濃の森と匠を活かす家づくり研究会(森と匠.net)

長野

「信州の家は信州の木で 工房信州の家づくり」グループ

選評

設計留意事項をまとめたルールブックをつくるなど仕様を確立しており、全面的に活発な活動を実施。連携もよくとれている。

写真は長野の山と天然乾燥材のストックヤード。「工房信州の家」の試みは長野県認定の「信州木づくりの家」グループであり、「長野県ふるさとの森林づくり賞信州の木利用推進の部」でも表彰されている。

木材ストックヤードを情報交換の場に

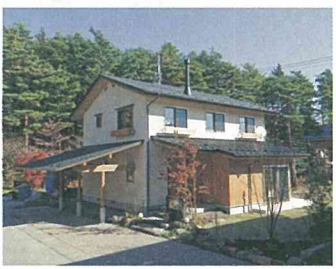
長野県産材でつくる「工房信州の家」は、フォレストコーポレーションの住宅事業です。県産材を安定して確保するため、平成18年に地元の製材会社である菅沼木材、都築木材とともに「工房信州の家」専用の長野県産材天然乾燥ストックヤードを新設し、ここを拠点に、森林で仕事をするNPO法人、山仕事師、森林組合と、建設会社、大工、家具屋とのネットワークを構築しました。

このストックヤードは、伊那谷の風や太陽光で木材を乾燥させるため、壁のない両開き構造です。桁材を中心に桟積み方式で常に30棟分をストックしています。また、森林所有者や山仕事師が直接ここに木を搬入するだけでなく、「工房信州の

〒399-4431 長野県伊那市西春近3005　株式会社フォレストコーポレーション
TEL 0265-72-2631　FAX 0265-72-2651　E-mail t-ozawa@forestcorp.jp　http://www.kobo-shinsyu.com

グループ概要

【結成】平成18年7月
【受注実績】●平成17年／24棟●平成18年／34棟●平成19年／34棟●累計／136棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士



長野県産材の使用率は全体の約80%。珪藻土などの塗り壁など自然素材も使用。壁の中を空気が流れるパッシブソーラーハウスで、自然を利用した省エネ住宅である。リビングを中心に各居室を配置し、広々とした空間を実現する。

「モデルハウス　シーズン南原」

所在地●長野県上伊那郡南箕輪村8306-1891
構造●木造2階建
建築面積●110.07㎡
床面積●1階84.05㎡　2階55.59㎡
竣工●平成20年10月
設計・施工●フォレストコーポレーション
概算坪単価●60万円～70万円

家」の建設計画をもとに伐採を行うなど、双方向の情報伝達も整備したいと考えています。

また、長野県林業総合センターと木材の含水率や強度の試験を行い、その結果を広く情報発信して、森林の問題提起や啓発活動の一端を担っていきます。

「自分の山の木」で家を建てる

「工房信州の家」では、長野県産材100%の家づくりを目指しています。

森林組合と共同で山地主へのアンケートを実施したところ、「自分の山の木で家を」と希望する方たちが増えています。すべての材料がまかなえるわけではありませんが、実際に建てた方からは大変喜ばれています。一緒に山へ入り、使用する木を選び、伐採して乾燥させることは時間のかかる作業ですが、この事業を推進していこうと考えています。これは「川上から川下までのネットワーク」づくりにおいて大きな役割を果たすものであり、同時に森林の保全や育成、長野県産材の普及にもつながるものと考えております。

フォレストコーポレーション
小澤仁代表

●「信州の家は信州の木で　工房信州の家づくり」グループ

新潟

越後にいきる家をつくる会

選評

金物を使用しない構造標準図を整備している。また、構造材に県産材を80％以上使うなど、「越後にいきる家」の独自の認定制度を確立し、信頼を得ている。

地元の人々や建て主が木と触れ合う機会をつくることもこの会の目的のひとつ。皆で木を伐り、植え、下草を刈り、間伐する。林業と連携して、年に5回、森の作業体験会を実施している。写真上は、先祖が植えた木を伐る建て主と棟梁。

震災にも負けない伝統技術が息づく家

建築家の村尾欣一と大工集団の斑鳩建築が、25年前から二人三脚で続けてきた「現代の民家づくり運動」が発展して、本会は発足しました。越後で育った木を用い、地元に継承されてきた技をいかし、100年生き続ける家づくりをめざしています。

日本には、はるか昔から木を活用してきた木の文化があります。また、世界最古の木造建築を作り出した伝統的な技術は21世紀の循環型思想にも通じるものです。越後で木造住宅を作り出す職人集団には、木と共生する思想と伝統的な技能が、辛うじて継承されています。

新潟県には100年に一度といわれる大震災が2度も起きました。金物補強をせず、木を木で締める会独自の標準仕様

〒950-2144 新潟県新潟市西区曽和字沢田521-1新潟県森林組合連合会内　TEL 025-262-2320　FAX 025-261-0526
E-mail kiotukao@alto.ocn.ne.jp　http://www.echigonoie.com

グループ概要

【結成】平成13年5月
【受注実績】●平成17年／379棟●平成18年／465棟●平成19年／469棟●平成20年400棟（見込み）●累計／2000棟
【グループ構成】木材生産者、森林組合、製材業者、木材販売業者、設計業者、大工・工務店

「込山邸」

所在地●新潟県五泉市
構造●木造2階建
建築面積●219.31㎡
床面積●1階152.35㎡　2階61.28㎡
竣工●平成12年9月
設計●村尾欣一
施工●斑鳩建築
概算坪単価●62万円

「越後にいきる家をつくる会」の出発点となった家。建て主の先祖が植えた山の杉、欅などを使った。骨組みや塗装など、建て主も積極的に施工に参加している。

の住宅は、あの大地震でも被害を受けませんでした。「100年もつ住宅」の確かさをここでも実証したことになります。「越後にいきる家をつくる会」の理念は、発足以来7年、草の根的に浸透し、支持を広げています。

心を通わせる家づくりを目指して

村尾欣一 会長

日本は豊かな森林国ですが、なかでも雪国新潟は、厳しい気候に育まれた粘り強い杉が豊富にあります。しかし木材の国内需要は8割が安価な輸入材。このままではふるさとの山は手入れをされず、荒れはてしまいます。

スーパーの生鮮食品にも産地や生産者の顔が表示される時代。あなたの毎日の生活を包み込む住まいの木材に、気を配らずにいられますか？

「住まいは木組み、人は心組み」。これは法隆寺最後の棟梁、故西岡常一氏の言葉です。昔も今も、家は素材を良く活かし、多くの人が心を通わせることではじめてできます。その楽しさを皆さんと共有していきたいと思います。

●越後にいきる家をつくる会

岐阜

協同組合上之保デカ木住宅センター

選評

岐阜県産材を中心に、構造材国産100%を守っている。伝統的な軸組工法で構造材の大型化を図っている。

大工が継ぎ手や仕口をつくり、組み上げていく伝統の軸組構法は地震にも強い。断面の大きな木材を使えば、火事になっても急に崩れ落ちることもない。

正真正銘の産地直送材で伝統構法の家をつくる

協同組合上之保デカ木住宅センターの組合員は、木の好きな者ばかりがあつまっています。先達から木とともに生きる事を教わり、先祖が愛し、育てた山の木を伐採しています。一本一本の木の性質を見て木を挽き、適材適所に合わせて木取りをして、大半の木を無駄なく使いきっています。自分たちが住むつもりになって、建て主の立場に立った家づくりをしています。

構成員は11社で、組合の加入条件は、製材業と建築業を行う者であること。全員が山林所有者であり、正真正銘の産地直送住宅であります。

我々の家づくりは、手刻みによる伝統の軸組工法で、「外観より中身が大事」と

〒501-3601 岐阜県関市上之保1949-2　TEL 0575-47-2667　FAX 0575-47-2678
E-mail sk-bigwood1984@kaminoho.jp　http://www.dekamoku.co.jp

グループ概要

【結成】昭和63年6月
【受注実績】●平成17年／16棟●平成18年／27棟●平成19年／33棟●累計／2000棟
【グループ構成】製材建築業者11社

数奇屋から現代的なデザインまで、大工の技を活かして幅広いスタイルの住宅をつくれる。

「和洋住宅」

所在地●岐阜県可児市
構造●木造軸組構法2階建
建築面積●132㎡
床面積●1階111.50㎡　2階96.89㎡
竣工●平成15年3月
設計●河合設計事務所
施工●山庄林業の家
概算坪単価●65万円

考えています。これは譲ることの出来ないポリシーです。

11社共通の耐震デカ木住宅標準構造特記仕様書によって建築しています。構造材には、国産・県産材100%のデッカイ材料を使用して、骨太で頑丈な「デカ木住宅」をつくっています。

村から東京へ大工が出張

旧上之保村内（関市）には、親子三代にわたる大工が約80名、建築関連業者を含めると、村の就労人口の約4割が建築に携わっています。今までに施工した内の一軒が東京都江戸川区にあります。軸組工法で手刻みして現地へ搬送、大工、職人が泊まり込んで完成させました。

組合には、林野庁の平成13年度地域型長期耐用住宅促進事業の補助を受けたモデルハウスがあります。これは「超長期200年住宅」の走りでもあります。年間集客数は約700世帯。組合員が日夜セールスマンとなり、一生懸命取組んでおります。

理事長
加藤進八

●協同組合上之保デカ木住宅センター

和歌山

木の家をつくる会

選評　設立後間もないこともあり、実績棟数はまだ少ないが、県支援事業を受けながら家づくりにまじめに取り組んでいる。今後の成長に期待したい。

構造見学会や完成見学会をたびたび開催。年4回程度、テーマを変えて「木の家セミナー」も実施している。

紀州熊野の自然乾燥材で手刻みによる家づくり

和歌山の製材所、設計事務所、施工業者、建具業者、銘木販売業者による会です。紀州熊野材を、プレカットせず、大工の手刻みによって加工し、本物の木の家を建てています。最近では人工乾燥させた木材が大半ですが、私たちは100%自然乾燥させた材（一部葉枯らし材）を使っています。年間を通し、安定した質の木材を確保しています。

また、一社で設計から施工まで行うのと異なり、私たちは互いに厳しいチェックをしながら、常に質の向上を目指しています。「地産地消」「原点回帰」「匠の技」などいくつかの基本理念を念頭に、基礎や構造、断熱など目に見えない部分の品質、強度にも目を光らせて、建築基準法を上

〒640-8214 和歌山県和歌山市寄合町15 藤井松ビル3F　TEL 073-423-1915　FAX 073-423-1915
E-mail master@kinoienet.com　http://www.kinoienet.com

グループ概要

【結成】平成17年10月
【受注実績】●平成17年／1棟●平成18年／3棟●平成19年／3棟●累計／11棟
【グループ構成】製材業者、木材販売業者、大工・工務店、建築士、建具業者

30代の夫婦と子ども２人の住宅。土地・建物の大きさは必要最小限に抑えつつ、構造や住み心地は一切妥協せずに建てた。現代の生活に馴染むデザインだが、建て主が生まれ育った京都の町屋をイメージし、美しく「古美る」ことを意識した。

「和みの家」

所在地●和歌山県和歌山市
構造●木造地上2階建
建築面積●44.72㎡
延床面積●79.50㎡
竣工●平成21年1月
設計●一級建築士事務所楽工舎
施工●武田建設
概算坪単価●90万円

回る設計・施工基準を採用しています。私たちは値引きはしません。見せ掛けの値引きで安く見せるのではなく、本当の家の値段を知ってもらいたいのです。そのために原価見積もりを行って適正価格を示し、優先順位を決めて予算に合わせた家づくりをする努力をしています。

片道1時間の範囲で家を建てる

家は買うものではなく建てるものである、というのが私たちの考えです。時間と思いをかけて建てた家ほど、納得のいく住まいになるからです。私たちは「自分たちが住みたいと思う家」を建てることを基本姿勢に、質を重視した家づくりを心がけています。

そのために、片道1時間の範囲で家を建てています。移動に1時間以上かかると、迅速で臨機応変な対応ができず、建て主にとって有益ではないからです。家庭によって生活スタイルや考え方は異なるものです。それぞれの家族にあった特色ある間取りデザインをご提案し、満足いく家づくりを目指しています。

藤井順三代表

●木の家をつくる会

和歌山

龍神住宅株式会社

選評

活動実績が20年以上ある。職人による大断面材を使用した地域材多用型の住宅を、限定された地域の中で安定して建築している。

龍神材を苗から育てて伐採、加工し、丈夫な住宅を建てるところまで、すべて龍神村で行っている。

苗木作りから住宅産業まで龍神村の龍神材で

村土の95％を森林が占める和歌山県龍神村は、「林業立村」を村是に掲げて永年にわたって林業振興に取り組んできました。「龍神住宅株式会社」の設立は昭和62年。木材の生産、流通、加工、家づくりまでの総合産業化を目指して、「苗木づくりから家づくりまで」をモットーに、龍神村、森林組合、山林所有者、製材業組合、建築組合が出資した第三セクターです。以来20余年、森林組合から木材を仕入れ、龍神の大工、左官が近畿一円、大阪、兵庫にまで出向いて建築し、龍神材の需要拡大と職人の仕事の確保、後継者の育成などに励んでいます。

これまでの新築住宅建築戸数は、１５０戸、総売上金額合計は46億１００万円、

〒645-0415 和歌山県田辺市龍神村西140-1　TEL 0739-78-0743　FAX 0739-78-2105
E-mail ryujin-j@mb.aikis.or.jp　http://www.ryujin-j.com

グループ概要

【結成】昭和62年1月
【受注実績】●平成17年／6棟●平成18年／9棟●平成19年／7棟●累計150棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士、農業協同組合、市行政

構造材から床板、壁板などの内装材、木製建具にいたるまで龍神材をつかった住宅。熱費を節約できて暖房効果も高い薪ストーブを採用し、ぬくもりのある家を目指して設計・施工した。

「龍神ぬくもりのある家」

所在地●和歌山県田辺市龍神村
構造●在来木造建築平屋
建築面積●145.53㎡
床面積●138.74㎡
竣工●平成19年12月
設計・施工●龍神住宅株式会社
概算坪単価●67万円(薪ストーブ、住設機器等含)

後継者は3名と、かろうじて目標ラインを達成しています。

平成4年に西宮市に私たちが建築した和風入母屋（葺土あり）土壁塗の住宅は、震災にあっても無事でした。当時の経験から、私たちの建物は大地震でも倒壊しないと自信を持っています。

自然の木につつまれた心安らぐ空間の創造

松本 健・代表

永年培った設計知識と施工実績に基づく工法で、安心して暮せる住まいを建てています。当社の住宅は、通常より一回り大きい芯持ち構造材を用いて耐震性を高め、大地震にも充分耐えます。内装には銘木龍神材の杉、檜を使用し、珪藻土などの塗壁を採用することで、シックハウス症候群をふせぎ、心休まる住まいを提供しています。

大地震がいつ発生してもおかしくなく、アレルギー体質の人も増えているいま、「安心・安全な住まい」は幸せな暮らしの第一条件です。設立時から変わることなく目指してきた「安心安全な住まい」への思いを、これからも貫いていきたいと思います。

●龍神住宅株式会社

兵庫

ひょうご木のすまい協議会

選評 流通の無駄を省き、建て主と森林へ費用の還元を行いながら家づくりを行っている。顧客への情報発信も活発で、まさに「顔の見える木材での家づくり」の活動である。

産地見学会は8年近くの実績があり、今では一度に１５０名もの参加者が集まる。

多くの業種が集まってそれぞれの力を発揮する

「ひょうご木のすまい」は、兵庫県産の杉や檜を使って家を建てるグループです。正会員の工務店８社を中心に、協力会員として建材商社や住宅保証会社など幅広い業種も参加しています。兵庫県宍粟市の杉で建材をつくる協同組合「しそうの森の木」も協力会員です。

年に2回実施している産地見学会では、伐採、製材、構造材のプレカットや造作材の加工場などを公開します。無垢の木の家を建てるには木を見立てる職人の力が欠かせないこと、近くの山の木で家を建てることの意義を伝えています。

また家づくりセミナーでは「日本の気候風土で快適な家を造るための工夫」や、「安心安全な家づくりのための技術や保障」、

〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜2-16　TEL 0798-39-1102　FAX 0798-39-1116
E-mail jimukyoku@hyogo-kinosumai.com　http://www.hyogo-kinosumai.com

グループ概要

【結成】平成15年7月
【受注実績】●平成17年／21棟●平成18年／17棟●平成19年／21棟●累計／114棟
【グループ構成】製材業者、大工・工務店、建築士、ITシステム管理業者、住設機器販売業者、瑕疵・性能・完成保証業者

産地・品質・性能を明確にした県産木材を使用。日本の伝統的な骨太フレーム、柱４寸角を採用し、軸組み壁工法、真壁造りを基本としている。塗り壁などの自然素材も使っている。

「芦屋浜モデルハウス」

所在地●兵庫県芦屋市
構造●木造2階建
床面積●1階95.1㎡　2階58.03㎡
竣工●平成19年11月
設計●田中敏博
施工●吉住工務店
概算坪単価●70万円（本体価格）

「木の持つ能力とそれを生かす知恵」などを学んでいただいています。

さらに、会員工務店が建てた住宅を取材し、「木のすまい新聞」を隔月で発行したり、小冊子「キノコトイエノコト」を年に一度発行するなど、紙面での啓蒙活動も積極的に行っています。

自然との共生 それが日本人の生き方

三波圭介会長

「身土不二」という言葉があります。人の体と郷土の自然は同じであるという意味です。昔は四里四方でとれたものを食べ、家をつくり、着物にしていました。そうして日本人は風土気候にあった暮らし方を身につけたのです。柱や梁といった軸組みを障子や襖で間仕切る家は、風通しがよく高温多湿な夏に快適です。藁屋根や木の床は保温性が高いため、冬には囲炉裏の火だけで家の中をあたためられます。

日本人は、生活の中で木をうまく活かし、敬い、森と自然を守ってきました。

近くの山の木による家づくりは、日本人が永い年月をかけて培ってきた、自然と共生する生き方そのものなのです。

●ひょうご木のすまい協議会

兵庫

住環境システム協同組合

選評 工務店主体のグループである。実績棟数が多く、完成住宅見学会などの消費者向け活動が充実している。

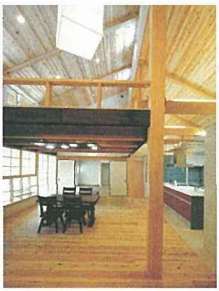
写真上・左は、ダイナミックな木材の伐採と製材の様子。写真下は国産材の家で健やかに暮らす家族。

但馬、丹波、播馬の工務店が集まって

兵庫県といえば神戸を中心とした街をイメージする人が多くいますが、大部分は北近畿の最高峰氷ノ山を中心にした山林で、杉、桧、松の産地として但馬、丹波、播磨があります。その三地域が協力し活動しているのが住環境システム協同組合です。34社の工務店を中心として森林育成、製材、プレカット、資材販売の各社が集まりました。

昨年、今年と兵庫県の立ち木を落札して伐採しました。以前は自然乾燥でしたが今はバイオマスボイラーを利用した蒸気乾燥機で乾燥します。人工乾燥した材料はプレカット工場で加工し、建築現場へ運びます。ちなみに、伐採後の山には、広葉樹と針葉樹を植樹して混合林にする

〒667-0113 兵庫県養父市藪崎1050番地　TEL 079-664-0297　FAX 079-664-2824
E-mail jukansys@jukankyosystem.or.jp　http://jukankyosystem.dreamblog.jp/
グループ概要
【結成】平成15年
【受注実績】●平成17年／150棟●平成18年／130棟●平成19年／120棟●累計／800棟
【グループ構成】木材生産者2社、製材業者4社、木材販売業者3社、工務店34社、建築士事務所5社、産業廃棄物収集運搬1社、プレカット工場3社　その他建築関連6社



周辺の田園風景になじむ平屋。いぶしの瓦、自然素材の塗り壁、木の格子組が引き立っている。

「小原邸」

所在地●兵庫県三木市
構造●木造軸組在来工法2階建（外貼断熱）
床面積●1階219.9㎡（ガレージ含む）
竣工●平成20年12月
設計・施工●高柴商事
概算坪単価●65万円（ソーラー発電パネル・浄化槽・外断熱システムはのぞく）

予定です。
国はCO_2削減に木造住宅を推奨していますが、私たちは「最も快適に住めるのは「気密・断熱・換気を理解した木造住宅」であると実験・実証により確信しています。

永年の実証データに基づく研究開発

組合参事
林恒久

我々は、室内はもとより地中、床下、小屋裏の温度・湿度の測定をしています。その実証データを元に、地熱利用、気密断熱、換気、化学物質を放出しない材料、調湿性能のある内装材などの勉強会を重ね、最小限の冷暖房で暮らせる家、シックハウス症候群やアレルギーのない家を追求してきました。高気密高断熱住宅は「熱を逃さない」ことがポイントですが、昔から日本では「家づくりは夏を旨とすべし」といいました。私たちは地熱を利用したり、夏はひんやり冬はあたたかい杉板を利用した住宅を提案しています。近年の猛暑でも、エアコンなしで暮らす建て主が多くおられ、我々の建築は間違ってはいなかったと自信を深めています。

●住環境システム協同組合

岡山

住まいづくりの会

選評 グループ内の連携がよく取れており、家を建てようと考えている人に向けた啓蒙活動も、グループ内の活動も活発である。設計者の入会審査や会員同士の情報交換、勉強会を行い、住宅の質の確保を目指している。

年4回の「住まい通信」で情報発信し、専門家に話を聞く「住まいセミナー」「住まい講演会」、木材の生産地・加工地を訪ねる「バスツアー」「住宅見学会」も開催している。

設計士が中心となった岡山県の家づくり

「住まいづくりの会」は、住まい手と設計者の出会いの場をつくり、住文化の質の向上を目的として平成10年4月に発足しました。運営するのは、岡山市内で設計事務所を営む4人の建築士です。

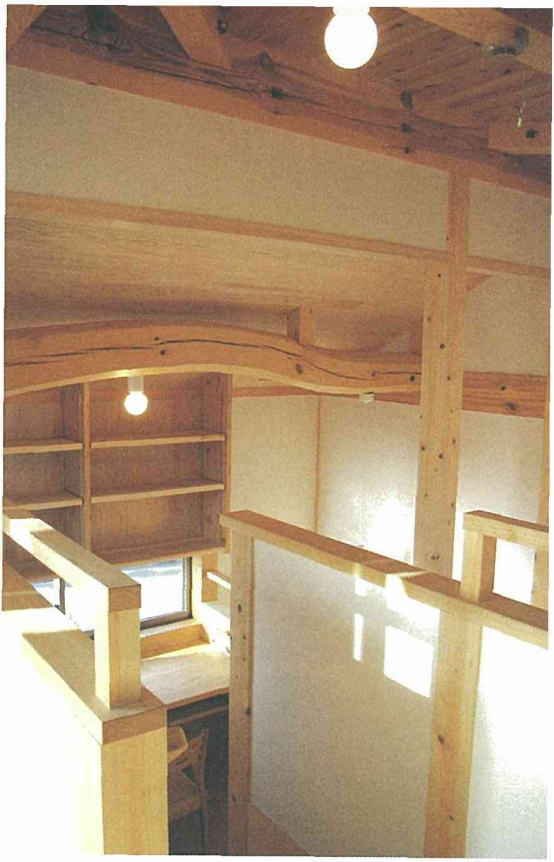
会の発足後、真っ先に始めた活動は、街なかでの「住まい無料相談会」です。10年たった今も週に一度の相談会を絶やさず続けており、設計士と一般の方の距離を縮めたと評価されています。

これから住宅を建てようとしている一般会員は延べ100名を超えました。なかでも健康に配慮し、気持ちの落ち着く「木の家」を望む方が、年齢を問わず大変多くいます。「木の家」を建てるなら、実際に森林を見に行ってみよう、製材所に足

〒700-0026 岡山県岡山市奉環町4-15-17　TEL 086-214-5323　FAX 086-255-1800
E-mail sumai@aoshintani.com　http://ww3.tiki.ne.jp/~land

グループ概要

【結成】平成10年4月
【受注実績】●平成17年／9棟●平成18年／8棟●平成19年／8棟●累積／70棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、大工・工務店、建築士、木材技術者



岡山県産材を随所に使った産直住宅。建設会社が所有する山で、秋から冬にかけての新月の日に伐採した木材や、県内の製材所が天然乾燥した地松、間伐材でつくった床材などを使用した。外観には伝統的な焼杉や漆喰を用いた。

「M邸」

所在地●岡山県岡山市
構造●木造2階建
建築面積●52.16㎡
床面積●1階45.54㎡　2階37.26㎡
竣工●平成20年12月
設計●宇川建築計画事務所
施工●田枝建設
概算坪単価●68万円

を運んでみよう、木材供給者や木材販売業者、施工者に集まってもらって話を聞こうと、様々なイベントを行ってきました。こうして培った木のネットワークを活かし、これからも顔の見える安心で安全な住まいづくりをすすめていきたいと考えています。

岡山の美作材を適材適所に使う

新谷雅之代表

岡山県北部は全国屈指の国産材生産地です。県北部の素材市場では、地元をはじめとして中四国・近畿・九州から多くの国産材の丸太が集荷されています。岡山の製材工場の多くは、構造材や造作材など加工に応じて専門が分かれており、そこで生産される製材品は、寸法や乾燥技術など優れた品質の「美作材（みまさかざい）」として全国に知られています。

しかしながら、他の地域と同様に、後継者不足、輸入材との価格競争など多くの問題を抱えています。私たちは、木のネットワークを発展させて、価格を抑えた安心で快適な住まいを提供したいと考えています。

●住まいづくりの会

山口

安成工務店 エコビルド トライ・ウッド

山とまち連携グループ

選評 木材生産者、木材加工者、工務店からなるグループ構成と、その理念を高く評価した。林産地との連携がよくとれており、「森林認証材」を用いながら多くの住宅を建築している。施工基準、施工体制もよく整備されている。

トライ・ウッドの輪掛け乾燥貯木場。玉切りした杉材を井型に組み、一年かけて天然乾燥するもので、色艶や香りも良く、割れが入りにくい乾燥方式である。また、安成工務店では、森林ツアーや工作教室などのイベントを積極的に開催している。

日本の木の家は山とまちの連携プレー

下関市の安成工務店と、大分県上津江の木材生産業トライ・ウッドは平成8年に出会い、産直型の家づくりを協働してきました。安成工務店にとってトライ・ウッドは単なる仕入先ではありません。適正な価格で山から木材を購入し、ニーズにあった家をつくるためのパートナーです。健全な山を存続させて国産材で家をつくり続けることで、地域経済に貢献することが私たちの使命です。年2回の森林体験ツアーでは、街なかに暮らす人々にとって、林産地である上津江が心の故郷となるように活動しています。

平成17年には安成工務店のプレカット工場を株式会社エコビルドとして独立したことで、構造材の加工性や木材の貯蔵

〒751-0865 山口県下関市綾羅木新町3-7-1 TEL 083-252-2478 FAX 083-252-2701
E-mail i-taketo@yasunari.co.jp http://www.yasunari-komuten.com

グループ概要

【結成】平成9年
【受注実績】●平成17年／95棟●平成18年／110棟●平成19年／135棟●累計／970棟
【グループ構成】素材生産者・製材業者、木材加工業者、工務店

自然素材にこだわり、自然の力を活かすプラン。夏は風が通り、冬はOMソーラーの心地よい暖かさで家全体が包まれる。

「自然の恵みを感じる家」

所在地●山口県宇部市
構造●木造2階建
建築面積●166.33㎡
述べ床面積●140.53㎡
竣工●平成20年8月
設計・施工●安成工務店
概算坪単価●70万円

力が向上しました。また、平成19、20年には日本の森林環境を守る「SGEC森林認証」を3社そろって取得しています。山と建て主をつなぐのは、住宅を供給する工務店の役目です。材、そして技を磨いて、我々の目指す現代の日本の木の家づくりを進めていきます。

失われたつながりを取り戻そう

安成工務店
安成信次代表

以前は、山とまちは深いつながりで結ばれていました。しかし戦後、個人主義の流れのなかで、新建材や輸入材を使って欧米風の外観で仕上げた家が増えました。その結果、山は荒れ、まちは大切な景観を失ってしまいました。

江戸時代、城下町や農山漁村集落のたたずまいの美しさは、当時の西欧人たちを驚かせたそうです。家は地域を構成する最小単位であり、個人の財産であると同時にまちの財産、地域全体のものです。私たちは、その基本に立ち戻り、国産材の家を普及啓蒙することで、忘れられた日本の家づくりを取り戻したいと考えています。自然と共生する暮らし、その答えの一つが「木の家」なのです。

●安成工務店　エコビルド　トライ・ウッド　山とまち連携グループ

高知

嶺北材ブランド化協議会

選評

木材産地主導のグループで、杉材を使った「れいほく規格材」を開発。「れいほくスケルトン」と呼ばれる木造基本構造体のキット商品によって、本格的な木造住宅を簡単に建築できるようにした。

木造住宅が町に増えることは、町に森林ができるのと同じこと。これをコンセプトに、年間の原木消費量が1万㎥を超える製材所3社が協力して、「れいほくスケルトン」を生産している。平成21年2月には、林野庁主催の「韓国ソウル・キョンヒャンハウジングフェア2009」にも出展した。

製材所発の構造体キットで簡単につくれる木造住宅を

木材の販路を拡大するためには、木造住宅を簡単に建築できる仕組みが必要。そう考えて、高知県嶺北地域の製材所が木材の規格化に取り組み、平成18年には地元の杉材を使った「れいほく規格材」を開発、翌19年には、基本構造体のキット「れいほくスケルトン」を商品化しました。この取り組みが県の補助事業に採択されたことをきっかけに、製材所、市場などが「嶺北材ブランド化協議会」を設立しました。

「れいほくスケルトン」を使えば、国産材を使ったことのない工務店でも簡単に本格的な国産杉材の木造住宅が建築できます。柱や梁桁を見せる「現し」用の構造材をプレカットして一棟分ずつ供給す

〒781-3617 高知県長岡郡本山町寺家80-1 TEL 0887-82-1237 FAX 0887-82-1162
E-mail info@reihoku-skeleton.com http://reihoku-skeleton.com

グループ概要

【結成】平成19年6月
【受注実績】●平成19年／10棟●累計／150棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、行政・団体、建築士協会

力強い構造材が「現し」となったれいほく規格材の住宅。基本構造体は30坪弱で100万円ほど。各種強度試験を行い、充分な強度性能を確認している。

「れいほく規格材の住宅」

所在地●高知県香美市
構造●木造2階建
建築面積●126㎡
床面積●1階63㎡　2階63㎡
竣工●平成19年4月
設計●建築舎KIT 喜多泰之
施工●建築工房 望
概算坪単価●55万円

るので、工務店は構造躯体を現場で組み上げるだけですみます。間取りや内外装材は、工務店の裁量で自由に施工できます。SGEC森林認証材でも受注でき、値段が透明かつ明瞭です。高知県設計監理協会による詳細設計、建て方指導などのサポートを受けることもできます。

新たなプランも準備中

田岡秀昭代表

高知県の林業振興事務所と協力して、平成20年度には45棟を販売、関西、四国でも新たに8社の工務店と取り引きが始まりました。「れいほくスケルトン」が普及し、木造住宅が増えれば「町に森林をつくる」ことにつながり、地球温暖化防止に役立つと考えます。

「れいほくスケルトン」は、都会の家族向けに30坪のプランを3つ用意しています。安心安全な嶺北地域の杉材を使い、団塊ジュニア世代には子供のための家、「住育」に役立つ家として、団塊世代には隠れ家のように楽しめる家として多様なニーズに応えることもできます。現在、新たに30プランを準備中です。

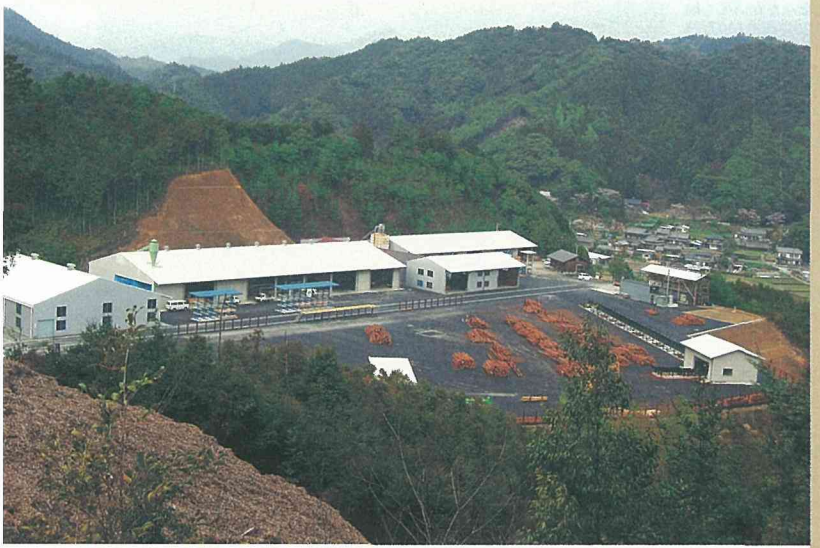
●嶺北材ブランド化協議会

高知

土佐の木の家づくり協議会

選評

土佐和紙・土佐漆喰といった地域の自然素材と物づくり技能を用いた家づくりをしている。コラボウッドと呼ばれる重ね梁など、部材開発も積極的に行っている。



写真上は佐川木材団地の様子。国産材を２本重ねてつくる「コラボウッド」など、木材の商品企画も行っている。バスツアーには、高知県内だけでなく、関西や山口からの参加者もいる。

ネットワークで産地と住宅を結ぶ

高知県の森林組合が中心となって、木材の生産地と、消費地の設計事務所・工務店をつなぐ「土佐の木の家づくり協議会」を設立しました。林産地が市場のニーズを把握するための活動で、製品開発や技術の向上だけでなく、木材の供給体制の整備、木造住宅の建築促進、木材活用による地域振興も目的としています。設立から8年を迎える現在では、高知県内にとどまらず、県外消費地とのネットワークも広げ、関西や山口に支部を設置するまでになりました。

木材はもちろん、土佐和紙、土佐漆喰などを使った家づくりを提案するなど、高知で生産される自然素材のトータルサポートもしています。

〒789-1203 高知県高岡郡佐川町川内ヶ谷5524　TEL 0889-20-0280　FAX 0889-22-9345
E-mail sakawa-pc@ask21.co.jp　http://tosa.ask21.jp/

グループ概要

【結成】平成13年12月
【受注実績】●平成17年／15棟●平成18年／20棟●平成19年／20棟●累計／150棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、木材販売業者、大工・工務店、建築士　会員数50社

土佐木材をふんだんに使って、現代的にデザインした住宅。

土佐の木の家

所在地●奈良県香芝市
構造●木造2階建
建築面積●68.48㎡
床面積●1階59.62㎡　2階59.62㎡
竣工●平成20年6月
設計・施工●池田住宅建設

自然素材の家を提案するイベントのほか、密集市街地の住宅関連業者と協力し、高知の山や製材工場などを見学するバスツアーなども開催しています。「産地の顔の見える家づくり」をすることで、「安心・安全」な木造住宅の推進に積極的に取り組んでいます。

土佐の気候に育まれた自然素材を使って

日浦郷一代表

高温多湿、台風の多い南国の気候のもと、土佐の森林はたくましく育ち、豊富な木材を生み出します。また、この地域には、厳しい気候条件に耐える家づくりの知恵と技があります。私たちは、土佐の気候・風土に育まれた「土佐木材」「土佐漆喰」「土佐和紙」をはじめとする自然素材を使って現代の家づくりを推進しています。

山を見るバスツアーでは、山や製材工場だけでなく、高知の郷土文化や自然にふれる機会もあり、参加者から高い評価を得ています。私たちの活動から「生産者の見える家づくり」の輪が広がり、過疎高齢化が進む林産地の山を守っていけたらと思っています。

●土佐の木の家づくり協議会

熊本

熊本の山の木で家をつくる会

選評

伝統構法を採用し、新建材や石油製品を使用しない、軒を長くするなど、しっかりとした家づくりの基本方針を掲げている。設計事務所主体で、自然素材、地域の技術を多く活用した家づくりが評価できる。

山の木を育てた人、製材した人の顔が見える地産地消の家づくり「産直住宅」が、活動の柱。伐採や製材の現場を見学できるイベントも開催している。

木を丸ごと一本使って伝統構法の家づくり

熊本の林業家と製材所、工務店、設計士が協力して、地域の材木を使った伝統構法の家づくりをしています。

一般に、木材の長さは、3m、4m、6mと規格化されていて、規格外の木材は非常に高価です。しかし伝統構法で家を建てるには、規格外の木材が必要となることが多々あります。そこで私たちは、規格にとらわれず、木を見て設計し、設計に合った寸法で製材しています。手間がかかる分、木材の値段は2割増です。しかし、通常では使わないような残り材（裏材）や節のある部分を鴨居や敷居材、枠材などに利用することで木を無駄なく使い、結果として家一軒分の木材のトータルコストを割安にできます。7mを越える大黒

〒861-4115 熊本県熊本市川尻4-10-5　TEL 096-357-0973　FAX 096-357-0973
E-mail sumai-hurukawa@basil.ocn.ne.jp　http://kumamotonoki.hp.infoseek.co.jp

グループ概要

【結成】平成15年9月
【受注実績】●平成17年／10棟●平成18年／10棟●平成19年／10棟●累計／60棟
【グループ構成】工務店、設計士、山林生産者、製材業

筋交いや金物を使わず、貫や足固めなどで構造耐力を持たせた伝統構法の住宅。新建材を使わず、風通しを考えて調湿効果のある木や漆喰を用いたことで、エアコンに頼らない快適な住まいを実現した。長い軒は、夏の直射日光を遮ると同時に建物を守って長持ちさせる効果もある。

「江津の家」

所在地●熊本県熊本市
構造●木造2階建
建築面積●159.20㎡
床面積●1階141㎡　2階81.1㎡
竣工●平成20年5月
設計●すまい塾古川設計室
施工●楠元建設
概算坪単価●70万円

柱も、長さに比例するだけで割高になりません。売り手は木材を高く売ることができ、一方で買い手は安値で手に入れられる。建て主と山林家、製材所、建築士、大工のネットワークがあってこそ、成り立つ仕組みです。

空気も水も山林がみなもと

すまい塾古川設計室
古川保

熊本は水と森が魅力です。人口67万人分の飲み水すべてを地下水で供給しています。

豊かでおいしい地下水の源流は熊本の山林です。山林を管理しているのは山林業者ですが、彼らはいま窮地に立たされています。北欧などの輸入材が多く流通していて、山の木が売れないからです。

しかし、日本で育った杉や檜は、腐れや虫にも強く、輸入材にはない優れた点がたくさんあります。

熊本の山から生まれた地下水を飲み、空気をすって暮らす皆さんは、是非、地元の山林の保全に協力してください。熊本の木で家を建てる人が増えれば、山林業者が山を守り続けていくことができるのです。

●熊本の山の木で家をつくる会

熊本

熊本の杉・天然乾燥研究会

選評

企業色がやや強いが、活動の趣旨が「顔が見える木材での家づくり」に合致している。林産地と強く連携しながら、100%国産材の森林認証材を用いて独自の天然乾燥を行い、安定して多くの住宅を建築している。

山主である片岡林業の立ち木を泉林業が伐採する。平成20年には、熊本県の森林認証の模範造林で初のイベント「山へ行こう」を開催した。

産地内分業体制で森林認証材の家を普及させる

本会では、林業県熊本の森を守り、木の文化の振興と地域産業の活性化、杉の天然乾燥の研究、森林認証材の家の普及を促進しています。

中心メンバーは新産住拓、泉林業、尾方製材です。新産住拓が、平成8年に熊本県球磨郡多良木の木材流通団地に町の誘致企業として進出したのがきっかけで、3社の交流が始まりました。以来、近くの山の木を葉枯らし乾燥し、地元で製材部品化して、近くのマーケットに供給する地産地消の「産地内分業体制」の確立をはかってきました。

また、本会では木材などの生産履歴を公開していますが、これは厚生労働省が定める住宅内の空気質、揮発性有機化合

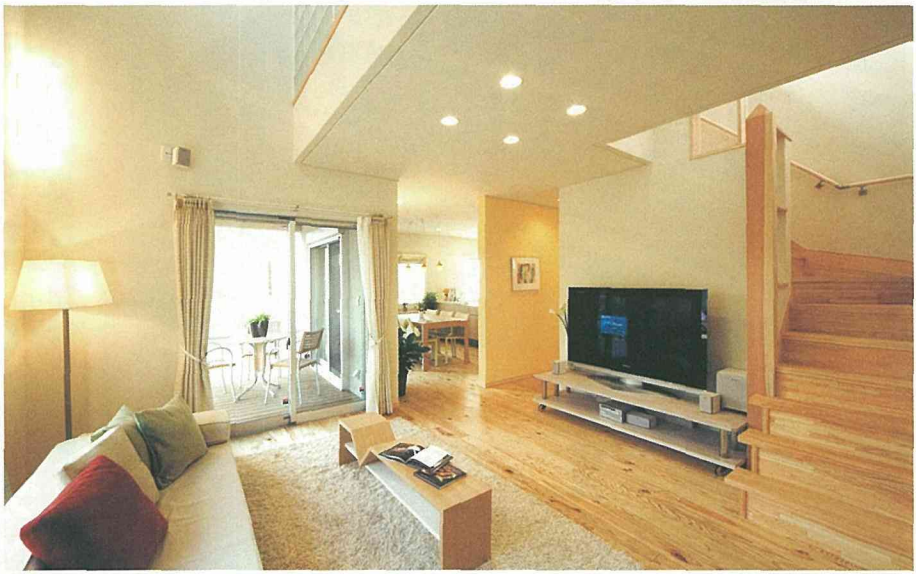
〒861-1401 熊本県熊本市近見8-9-85　TEL 096-356-1500　FAX 096-353-1521
E-mail shinsan@shinsan.com　http://www.shinsan.com

グループ概要

【結成】平成8年7月
【受注実績】●平成17年／135棟●平成18年／150棟●平成19年／170棟●累計／1575棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士

「第6期光の森住宅展示場　森林認証の家モデル住宅」

所在地●〒869-1101　菊池郡菊陽町津久礼(光の森内)
構造●木造2階建
建築面積●139.88㎡
床面積●1階81.22㎡　2階53.66㎡
竣工●平成20年3月
設計・施工●新産住拓
概算坪単価●約50万円～55万円



新産住拓は、適正に管理されている森林の材を使った住宅を建てていることが認定され、住宅会社としてSGEC森林認定を受けている。写真は、安全な材料を使ってシンプルで上質なインテリアを実現したモデルハウス。

物（５ＶＯＣ）の指針値を下まわる自然素材系住宅を実現するためです。これは人に優しい良い住まいをより安く供給することにもつながります。平成20年には、国土交通省による第1回超長期住宅（２００年住宅）の先導的モデル事業に採択されました。

樹齢50年の杉を葉枯らし乾燥させて

新産住拓会長
小山幸治

本会の住宅では、天然乾燥した森林認証材（１００％国産材）を使っています。熊本でよく知られた山主・片岡林業の立ち木を泉林業が伐採し、葉枯らし乾燥して製材したものです。この現場を年に2回、公開しています。高性能伐採機械で樹齢50年の杉を伐採する場面では、大きな感嘆と拍手がおこるものです。

この無垢材を使って、梁や桁などが見える真壁式工法とし、台風や地震に強く、住む人と環境に優しい家づくりを実践しています。厚生労働省が定めた揮発性有機化合物の指針値を下まわることを施工基準とした健康住宅を目標としております。

●熊本の杉・天然乾燥研究会

熊本

「生地の家」職人，ネットワーク

選評

熊本県のグループだが、宮崎県諸塚村とネットワークを組み、よく連携の取れた活動をしている。森林認証材や自然素材を使用し、家づくりの憲法・基本方針も整備している。実績棟数は少ないが今後に期待できる。

建て主は自分の家の木材となる木を見に、諸塚村におもむく。そこでの出会いが、かけがえのない家づくりへつながる。

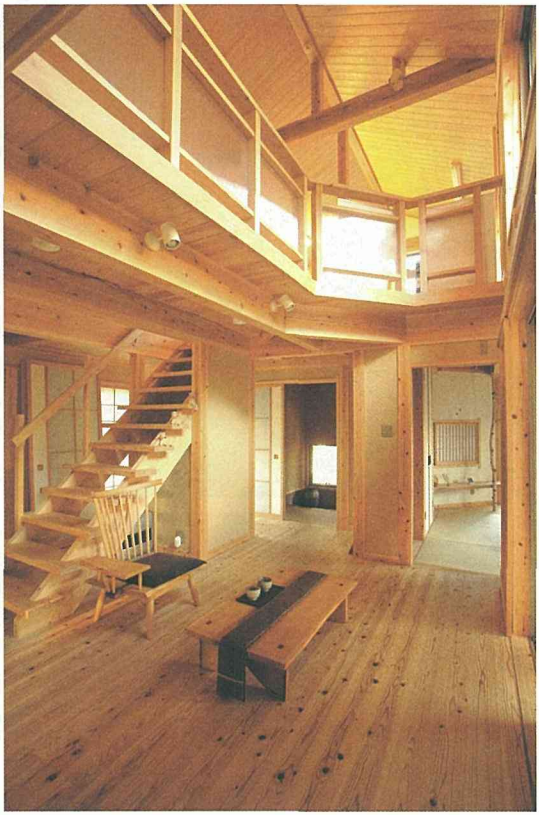
諸塚村産の木材を使って熊本に家を建てる

熊本県の工務店による「生地の家」職人，ネットワークでは、憲法を定めて家づくりに臨んでいます。第1条、違法伐採の木材を一切使用しない。第2条、人体に有害と認められる建材は一切使用しない。第3条・第4条、高気密高断熱、大量生産型の家づくりは一切しない。第5条、坪単価で全てを判断する建て主の仕事は一切しない。自然素材を使って、健康と環境に配慮した住まい、家族の絆が深まる家を目指しています。

私たちが使う構造材は、9割以上が宮崎県諸塚村産の森林認証材です。竣工時には木材の故郷の山主、産地の関係者たちもお祝いに駆けつけます。また、建て主には地鎮祭、上棟式や餅投げなどの伝

〒862-0911 熊本県熊本市健軍3丁目27-7　TEL 096-368-7125　FAX 096-360-1319
E-mail tsg@indigo.plala.or.jp　http://www.kijinoie.lifeware-design.jp/kijinoie/kijinoie.html
グループ概要
【結成】平成17年9月【受注実績】●平成17年／2棟●平成18年／8棟●平成19年／7棟●平成20年／8棟●累計／25棟
【グループ構成】大工・工務店、アドバイザー
【連携先】市町村行政：宮崎県諸塚村役場　森林組合：耳川広域森林組合　諸塚加工センター

「生地の家」では30mm厚の杉の床、八代産の無染土畳、珪藻土・シラス・い草の塗り壁など100%自然素材を使用。床や造作家具などは天然オイルで仕上げる。写真は体感宿泊ハウスで、通常の住宅の2倍の木材を使っている。冷暖房に頼らない通気断熱WB工法を採用した。



体感できるモデルハウス「木楽」

所在地●熊本県合志市
構造●木造2階建
建築面積●89.12㎡
床面積●1階79.49㎡　2階48.02㎡
竣工●平成19年12月
設計・施工●ミズタホーム
概算坪単価●65万円

統行事や、珪藻土塗りなどへの参加を積極的に勧めています。こうした機会を通して、住み手とつくり手が信頼関係を築けば、住んでからも、住宅の修理や悩みを相談できるようになります。私たちは建てた後にもお付き合いが続く家づくりこそ本物だと思っています。

建て主が山を知るこれぞ感動の家づくり

小椋清市代表

私たちは、林業に力を入れている宮崎県諸塚村と、環境や健康に配慮した住まいを求める建て主をつなげる取り組みをしています。そのために、建て主には、産直ツアーに参加してもらいます。山のひとに出会い、山のくらしを知ることで、家づくりの感動や思いが深まったという声が多々寄せられています。また、諸塚村の木材はFSC森林認証材なので、流通経路が明確です。その木で建てた「生地の家」のモデルハウスは、一般的な家と比べて、木材の輸送過程の排出二酸化炭素が85%も削減できました。顔の見える家づくりは、山にも建て主にも環境にもうれしい取り組みなのです。

●「生地の家」職人' ネットワーク

宮崎

諸塚村産直住宅推進室

選評 行政による林業活性化の取り組みの一環で、地域の資源を活かした家づくりをしている。理念にあった活動をしており、評価できる。国際水準の森林認証で差別化を図り、小さな村ながら着実に実績を上げている。

住宅事業は、森林資源や山村文化を再評価し、村民が自信を持って暮らすための「エコビレッジ諸塚プロジェクト」の一環。単なる木材の直売や観光開発に終わらせず、村民が自ら村の未来を切り開くことが目的だ。

木材の産直による家づくりで村おこし

宮崎県諸塚村は九州山脈の中央にある林業の村です。その95%を占める山林は、杉、檜の針葉樹とクヌギ、ナラの広葉樹の混交林です。モザイク林相と呼ばれる環境にやさしい美しい森を生かし、都市と交流しながら山と共生する「全村森林公園化構想」を村づくりの柱にしています。

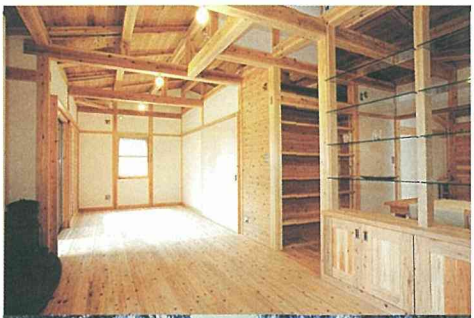
産直住宅事業は、諸塚村と森林組合、森林組合が運営する木材加工センター、森林作業会社の財団法人ウッドピア諸塚の共同プロジェクトです。私たちは、森林資源を守りつつ、地域資材を活かした家をすすめています。設計事務所や工務店の協力を得ながら、林業家自身が木材を供給するなど家づくりに参加することで、建て主が直接木材を評価することができ

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 諸塚村役場企画課　TEL 0982-65-1116　FAX 0982-65-0032
E-mail t.yabusa@morotsuka.jp　http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp

グループ概要

【結成】平成10年5月
【受注実績】●平成17年／20棟●平成18年／29棟●平成19年／31棟●累計／186棟
【グループ構成】木材生産者、製材業者、大工・工務店、建築士、市町村行政

自然乾燥木材などの地域資材を採用。素朴でシンプルなつくりで間取りにも無駄がなく、本格的な家をローコスト化した。将来、家族構成や暮らし方が変化したときにも、間取りを変更するなど手を入れやすいつくりなので、住みながら積極的に家へかかわり続けることができる。



シックハウスの原因となる化学物質をさけて、木材や自然素材をふんだんに使った「諸塚村産直住宅モデルハウス」。木材はすべて諸塚村産。

みかんの家

所在地●熊本県阿蘇市
構造●木造
建築面積●83.74㎡
床面積●83.74㎡
設計●小川建築設計事務所
施工●三友工務店
概算坪単価●63万円

ます。お互いの顔が見える家づくりによって、林業家は自信と活力を取り戻し、これを持続可能な村おこしにつなげるというものです。家を建てて終わりではなく、家づくりから始まる信頼関係を重視した取り組みです。

林業の村から発信する環境共生型自然派住宅

松田美利室長

諸塚村産直住宅では11の原則にもとづき、シックハウスなどの原因になる化学物質を避け、木材を中心に自然素材をふんだんに使った自然派住宅、環境共生型の住宅をつくっています。葉枯らし乾燥材を規格に基づき適正に製材することで、木材の価格の無駄を省いています。工事費も丼勘定せず、見積もり内容を開示しています。耐久性、耐震性を備え、バリアフリーにも配慮。製材・設計・施工の方針を住む人の立場で一貫させる「住む人主役の家づくり」を行い、建て主には実際の家づくりに参加してもらいます。一緒に、伝統技術を生かした「ローテクの家づくり」をしませんか。

●土佐の木の家づくり協議会

顔の見える木材での家づくりグループ30選 2009年版 リスト一覧

9 さんむフォレスト
〒283-0067
千葉県東金市東上宿13-1
TEL 0475-52-7510
FAX 0475-52-7511
E-mail info@sanmu-forest.com
HP http://www.sanmu-forest.com/

10 ワークショップ「き」組
〒165-0023
東京都中野区江原町1-46-12-203
TEL 03-3951-0703
FAX03-5996-1370
E-mail info@kigumi.jp
HP http://www.kigumi.jp

11 青ヒバの会
〒153-0064
東京都目黒区下目黒1-3-20-504
TEL 03-3779-0608
FAX 03-3779-0653
E-mail info@aohiba.net
HP http://www.aohiba.net

12 協同組合　匠の会
〒104-0045 東京都中央区築地6-4-5
シティスクエア築地404
TEL 03-6228-4500　FAX 03-6228-4501
E-mail info@takumi.or.jp
HP http://www.takumi.or.jp

4 家造りを考える会
〒328-0104
栃木県下都賀郡都賀町木464-1
TEL 0282-27-9217
FAX 0282-27-9217
E-mail ishimoto-k@cc9.ne.jp
HP http://www.cc9.ne.jp~ishimoto-k

5 日光地区木材流通研究会
〒322-0423
栃木県鹿沼市上粕尾870-2
TEL 0289-82-3007
FAX 0289-82-3308
E-mail wood-kun@takami-rin.jp
HP http://www008.upp.so-net.ne.jp/moku/top.htm

6 八溝の家づくりグループ
〒310-0026
茨城県水戸市泉町1-4-28
TEL 029-227-1040
FAX 029-227-5530
E-mail tishikawa@kk-tosho.co.jp
HP http://www.kk-tosho.co.jp

7 木の家だいすきの会
〒359-1116
埼玉県所沢市東町11-1-1704
TEL 04-2926-6045
FAX 04-2926-5743
E-mail office@kinoie.org
HP http://www.kinoie.org

8 ちばの山を愛する家造りネット
〒266-0005
千葉県千葉市緑区誉田町2-29
TEL 043-291-0586
FAX 043-291-1332
E-mail shinya.n@m-omosiro.com
HP http://www.chibayama.ne.jp

東北

1 宮古・下閉伊 モノづくりネットワーク林産部会
〒027-0072 岩手県宮古市五月町1-20
宮古地方振興局林務部内
TEL 0193-64-2215
FAX 0193-64-4594
E-mail takamatsu@pref.iwate.jp
HP http://forest.mono385.net/

首都圏

2 群馬西毛の家協同組合
〒370-2213 群馬県甘楽郡甘楽町
大字白倉496-5
TEL 0274-74-7315
FAX 0274-74-6512
E-mail kumiai@seimounoie.jp
HP http://www.seimounoie.jp

3 八溝杉の家づくり協同組合
〒321-0617
栃木県那須烏山市上境289
TEL 0287-84-0270
FAX 0287-82-3473
E-mail info@maechou.co.jp
HP http://www15.ocn.ne.jp/~yamizo

甲信越

13 山梨の木で家をつくる会
〒400-0211
山梨県南アルプス市上今諏訪850-1
TEL 055-284-8888
FAX 055-284-8890
E-mail info@y-moc.com
HP http://www.y-moc.com

平成20年度林野庁補助事業
住宅分野への地域材供給支援事業　顔の見える木材での家づくり普及支援事業

財団法人
日本住宅・木材技術センター

〒107-0052
東京都港区赤坂2-2-19
アドレスビル4階

TEL.03-3589-1796
FAX.03-3589-1766

E-mail:mail@howtec.or.jp

www.howtec.or.jp

中国・四国

23 住まいづくりの会
〒700-0026
岡山県岡山市奉環町4-15-17
TEL 086-214-5323
FAX 086-255-1800
E-mail sumai@aoshintani.com
HP http://ww3.tiki.ne.jp/~land

24 安成工務店 エコビルド トライ・ウッド 山とまち連携グループ
〒751-0865
山口県下関市綾羅木新町3-7-1
TEL 083-252-2478
FAX 083-252-2701
i-taketo@yasunari.co.jp
http://www.yasunari-komuten.com

25 嶺北材ブランド化協議会
〒781-3617
高知県長岡郡本山町寺家80-1
TEL 0887-82-1237
FAX0887-82-1162
E-mail info@reihoku-skeleton.com
HP http://reihoku-skeleton.com

26 土佐の木の家づくり協議会
〒789-1203
高知県高岡郡佐川町川内ヶ谷5524
TEL 0889-20-0280
FAX 0889-22-9345
E-mail sakawa-pc@ask21.co.jp
HP http://tosa.ask21.jp

九州

27 熊本の山の木で家をつくる会
〒861-4115
熊本県熊本市川尻4-10-5
TEL 096-357-0973
FAX 096-357-0973
E-mail sumai-hurukawa@basil.ocn.ne.jp
HP http://kumamotonoki.hp.infoseek.co.jp

28 熊本の杉・天然乾燥研究会
〒861-1401
熊本県熊本市近見8-9-85
TEL 096-356-1500
TEL 096-353-1521
E-mail shinsan@shinsan.com
HP http://www.shinsan.com

29 「生地の家」職人' ネットワーク
〒862-0911
熊本県熊本市健軍3丁目27-7
TEL 096-368-7125
FAX 096-360-1319
E-mail tsg@indigo.plala.or.jp
HP http://www.kijinoie.lifeware-design.jp/kijinoie/kijinoie.html

30 諸塚村産直住宅推進室
〒883-1301
宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683
諸塚村役場企画課
TEL 0982-65-1116
FAX 0982-65-0032
E-mail t.yabusa@morotsuka.jp
HP http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp

14 山梨県産材健康住宅研究会
〒400-1103　山梨県甲府市平瀬町399-9
TEL 055-251-8595
FAX 055-251-8701
E-mail vernacular_alps@yahoo.co.jp
HP http://www.geocities.jp/vernacular_alps/

15 北信濃の森と匠を活かす家づくり研究会
〒380-0947
長野県長野市平柴1582-1-A
TEL 026-214-3077
FAX 026-214-3077
E-mail info@shimo-a.com
HP http://www.mori-takumi.net

16 「信州の家は信州の木で工房信州の家づくり」グループ
〒399-4431
長野県伊那市西春近3005
株式会社フォレストコーポレーション
TEL 0265-72-2631
FAX 0265-72-2651
E-mail t-ozawa@forestcorp.jp
HP http://www.kobo-shinshu.com

17 越後にいきる家をつくる会
〒950-2144
新潟県新潟市西区曽和宇沢田521-1
新潟県森林組合連合会内
TEL 025-262-2320
FAX 025-261-0526
E-mail kiotukao@alto.ocn.ne.jp
HP http://www.echigonoie.com

近畿

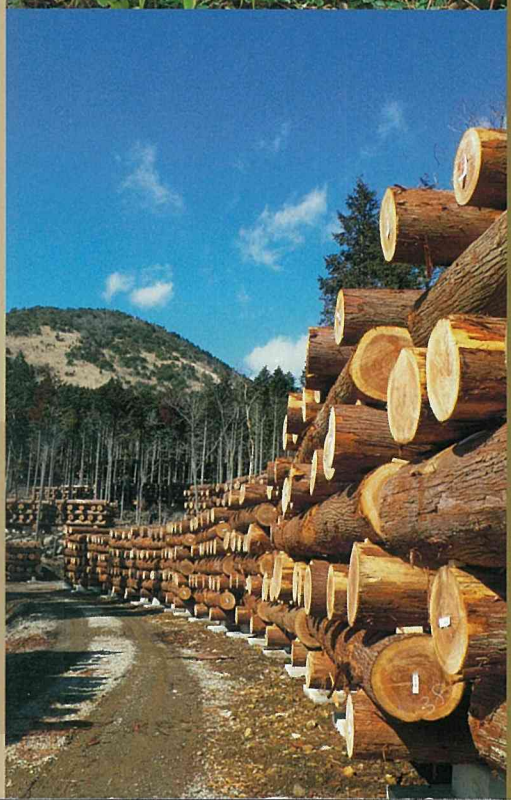
18 協同組合上之保デカ木住宅センター
〒501-3601
岐阜県関市上之保1949-2
TEL 0575-47-2667
FAX 0575-47-2678
E-mail sk-bigwood1984@kaminoho.jp
HP http://www.dekamoku.co.jp

19 木の家をつくる会
〒640-8214
和歌山県和歌山市寄合町15 藤井松ビル3F
TEL 073-423-1915
FAX 073-423-1915
E-mail master@kinoienet.com
HP http://www.kinoienet.com

20 龍神住宅株式会社
〒645-0415
和歌山県田辺市龍神村西140-1
TEL 0739-78-0743
FAX 0739-78-2105
E-mail ryujin-j@mb.aikis.or.jp
HP http://www.ryujin-j.com

21 ひょうご木のすまい協議会
〒663-8142
兵庫県西宮市鳴尾浜2-16
TEL 0798-39-1102
FAX 0798-39-1116
E-mail jimukyoku@hyogo-kinosumai.com
HP http://www.hyogo-kinosumai.com

22 住環境システム協同組合
〒667-0113 兵庫県養父市薮崎1050番地
TEL 079-664-0297
FAX 079-664-2824
E-mail jukansys@jukankyosystem.or.jp
HP http://jukankyosystem.dreamblog.jp/



HOWTEC

財団法人日本住宅・木材技術センター